

1. 沿革

明治 35 年	松波医院開設
明治 44 年	加納町病院として再開設
昭和 8 年	松波外科医院開設
昭和 22 年	松波病院 (20 床) 開設 [医院廃止]
昭和 32 年	医療法人蘇西厚生会設立
昭和 52 年	CT 装置導入 (国内 3 番目)
昭和 54 年	松波病院病床数増床 (250 床)
昭和 57 年 4 月 1 日	託児所エンゼル開設
昭和 63 年 2 月 1 日	松波総合病院 (437 床) 新築移転・開設
	コンピューターによるオーダーリングシステム開始
	MRI (1.5 テスラ) 導入 (東海地区初)
	松波病院 (250 床) 廃止
	松波総合病院老人保健施設 (146 床) 開設
	松波総合病院附属診療所 (19 床) 開設
平成 4 年 1 月 1 日	笠松町在宅介護支援センターまつなみ受託
平成 6 年 4 月 1 日	臨床研修病院指定
平成 7 年	体外受精成功 (県内初)
平成 7 年 12 月 1 日	日本内科学会認定医制度教育病院指定
平成 8 年 12 月 19 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価試行受審
平成 9 年 11 月 28 日	生体部分肝移植手術成功 (国内の民間病院初)
平成 10 年 4 月 1 日	心臓血管外科開設
平成 10 年 9 月 1 日	まつなみ訪問看護ステーション開設
	生体部分肝移植手術 (施設基準) 取得
平成 10 年 11 月 1 日	開放型病院 (施設基準) 取得
平成 11 年 6 月 1 日	神経内科開設
平成 11 年 7 月 1 日	ペインクリニック外来開設
平成 12 年 1 月 1 日	松波総合病院患者家族宿泊施設新設 (定員 4 部屋 8 名)
平成 12 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所まつなみ開設
平成 12 年 10 月 1 日	形成外科開設
平成 12 年 12 月 31 日	夜間一般外来廃止
平成 14 年 2 月 1 日	院外処方箋発行開始
平成 14 年 6 月 6 日	一般病床 (436 床) として届出
平成 14 年 6 月 30 日	精神科廃止
平成 14 年 7 月 31 日	松波総合病院附属診療所廃止
	松波総合病院附属診療所通所リハビリテーション廃止
平成 14 年 8 月 1 日	まつなみ健康増進クリニック (診療センター、人間ドック・健診センター、人工透析センター) 開設
平成 14 年 10 月 1 日	16 列型マルチスライス CT 装置導入 (国内 2 番目)
平成 14 年 11 月 1 日	松波総合病院居宅介護支援事業所開設
平成 15 年 1 月 1 日	回復期リハビリテーション病棟 (3 階病棟、55 床) 開設
平成 15 年 7 月 15 日	禁煙宣言病院 (敷地内・建物内完全禁煙 含クリニック)、禁煙外来開設

平成 16 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver.4 認定
平成 16 年 4 月 1 日	脳下垂体外科専門外来開設 新医師臨床研修病院指定
平成 16 年 6 月 2 日	女性外来開設
平成 16 年 10 月 1 日	呼吸器内科開設
平成 16 年 11 月 1 日	不妊・遺伝相談外来開設
平成 17 年 1 月 17 日	まつなみ在宅総合ケアセンター開設 まつなみ訪問介護ステーション開設
平成 17 年 2 月 1 日	救急救命集中治療センター開設
平成 17 年 10 月 29 日	人間ドック・健診施設機能評価認定
平成 18 年 4 月 1 日	DPC（診断群分類別定額支払い方式）対象病院認可
平成 19 年 3 月 22 日	特定医療法人承認
平成 19 年 6 月 1 日	託児所エンゼル新築移転
平成 19 年 9 月 22 日	肩・スポーツ外来開設
平成 19 年 12 月 1 日	集中治療室（ICU）開設 病床数減（434 床）
平成 20 年 2 月 1 日	重症心疾患患者集中治療室（CCU）開設 病床数減（432 床）
平成 20 年 3 月 31 日	口腔外科廃止
平成 20 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構認定病院認定
平成 20 年 10 月 1 日	社会医療法人認定 法人管理センター新築移転
平成 21 年 1 月 1 日	放射線治療装置導入（放射線治療再開）
平成 21 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver.5 認定
平成 22 年 2 月 1 日	ストーマ外来・女性肛門外来開設
平成 22 年 3 月 1 日	320 列マルチスライス CT 装置導入（県内 2 番目）
平成 22 年 12 月 4 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：女性 2 名）
平成 22 年 12 月 12 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ導入」（国内 3 番目）
平成 23 年 2 月 25 日	ドトールコーヒESHOP 松波総合病院店開店
平成 23 年 3 月 30 日	国土交通省短期入院協力病院指定
平成 23 年 4 月 20 日	次世代育成対策支援法第 13 条に基づき基準適合一般事業主認定
平成 23 年 6 月 1 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）公開
平成 23 年 8 月 22 日	岐阜 DMAT 指定病院指定
平成 23 年 10 月 26 日	災害拠点病院（地域災害医療センター）指定
平成 24 年 1 月 6 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：男性 1 名、女性 1 名）
平成 24 年 4 月 26 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 24 年 6 月 1 日	地域医療介護連携センター設置
平成 24 年 7 月 24 日	体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」導入
平成 24 年 8 月 31 日	地域医療支援病院に承認
平成 25 年 2 月 2 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」導入（国内 2 番目、国内 2 例目、岐阜県下 1 例目） ※「ダヴィンチ S」からのバージョンアップ
平成 25 年 7 月 4 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した肝臓切除術県内初成功
平成 25 年 7 月 31 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 25 年 9 月 1 日	まつなみリサーチパーク設立
平成 25 年 10 月 17 日・18 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価（3rdG：Ver.1.0）受審
平成 25 年 11 月 1 日	松波総合病院障害者短期入所事業所開設

平成 26 年 1 月 1 日	電子カルテシステムの導入
平成 26 年 1 月 6 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG: Ver.1.0) 「一般病院 2 (200 床以上 500 床未満) (主たる機能)」 「リハビリテーション病院 (副機能)」 認定
平成 26 年 1 月 30 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した子宮全摘出手術院内第 1 例目実施
平成 26 年 2 月 19 日	特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価受審
平成 26 年 3 月 25 日	外国人看護師候補者 1 名 看護師国家試験合格 (インドネシア: 女性 1 名)
平成 26 年 7 月 22 日	松波総合病院北館 (NORTH WING) 新築開設 (許可病床数 445 床・稼働病床数 432 床) 北館内にハイブリッド手術室を完備 MRI(3.0 テスラ) 導入 (サイレントスキャン県内 1 番目)
平成 26 年 7 月 29 日	ドクターヘリでの救急搬送第 1 号
平成 26 年 9 月 1 日	HCU 開設 (20 床) 地域包括ケア病棟開設 (55 床)
平成 26 年 12 月 18 日	学校法人朝日大学との教育、研究、医療活動に関する包括的連携協定の締結
平成 27 年 4 月 1 日	松波総合病院南館 (SOUTH WING) 改修に伴い、病床数増床 (501 床)
平成 27 年 4 月 28 日	学校法人聖徳学園との包括的な連携協定を締結
平成 27 年 5 月 1 日	障害者病棟を開設 (59 床)
平成 27 年 6 月 16 日	仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業として 2015 年度岐阜県で第 1 号くるみんマーク取得 (4 度目の認定)
平成 27 年 7 月 1 日	岐阜県子育て支援企業に登録
平成 27 年 8 月 1 日	ブライダルチェック外来開設
平成 27 年 8 月 21 日	まつなみリサーチパーク「在宅医療支援システム」特許取得
平成 27 年 9 月 7 日	まつなみリサーチパーク 科学研究費助成金取扱規程第 2 条第 8 項に規程する研究機関に指定 (県内初)
平成 27 年 10 月 30 日	まつなみリサーチパーク「採血・検査一体型デバイス」特許取得
平成 27 年 11 月 11 日・12 日・13 日	第 26 回 VHJ (Voluntary Hospitals of Japan) 研究会職員交流会主催
平成 27 年 12 月 22 日	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学との連携包括協定の締結
平成 28 年 1 月 19 日	ヒト型ロボット「Pepper (ペッパー)」を導入
平成 28 年 3 月 18 日	まつなみリサーチパーク「消化管デバイス」特許取得
平成 28 年 4 月 12 日	「夜尿症外来」をまつなみ健康増進クリニックに開設
平成 28 年 5 月 15 日	熊本地震の被災地医療支援のために災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣
平成 28 年 7 月	「非接触・無拘束ベッド見守りシステム」を介護老人保健施設に導入
平成 28 年 9 月 6 日	DMAT 本部機能認定
平成 29 年 2 月 23 日	岐阜県子育て支援エクセレント企業に認定
平成 29 年 3 月 29 日	育児ほほえみ相談事業委託契約締結
平成 29 年 4 月 1 日	東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センターの社会連携講座「肥満メタボリックケア」において、東京大学、社会医療法人河北医療財団、ライザップ株式会社との共同研究 (肥満やサルコペニアに関して) を開始
平成 29 年 4 月 3 日	英語版・中国語版ホームページを開設
平成 29 年 10 月 1 日	救急科 (救急総合診療科) を新設
平成 29 年 10 月 3 日	羽島郡広域連合消防本部と共同で病院派遣型の救急ワークステーションの運用を開始
平成 29 年 11 月 1 日	発達障害外来を開設
平成 29 年 11 月 19 日	「輸血機能評価認定施設 (I&A 制度認定施設)」岐阜県内民間病院第一号認定
平成 30 年 3 月 13 日	JMIP (外国人患者受入れ医療機関認定制度) に認定 (県内 2 番目)
平成 30 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構 (JCEP) よりエクセレント賞を受賞

平成 30 年 9 月 1 日	無菌治療室（クリーンルーム）を設置
平成 31 年 1 月 30 日	「岐阜医療圏地域コンソーシアム」協定締結
平成 31 年 2 月 21 日	「健康経営優良法人ホワイト 500」に認定
平成 31 年 3 月 1 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver.2.0) 一般病院 2(200 床以上 500 床未満)(主たる機能)「リハビリテーション病院(副機能)」認定
平成 31 年 4 月 27 日	日本感染管理ベストプラクティス "Saizen" 研究会 最優秀ベストプラクティス賞受賞
令和 元年 8 月 5 日	レストラン「然の膳 松波総合病院店」開店
令和 元年 9 月 9 日	松波総合病院立体駐車場完成
令和 元年 9 月 16 日	台風 15 号の被災地支援に全日本病院医療支援班 (AMAT) を千葉県に派遣
令和 元年 10 月 1 日	松波総合病院ノースウィング増築完成
	リンパ浮腫外来、嚥下外来開設
令和 2 年 1 月 11 日	まつなみ医療職体験会 2020 を開催
令和 2 年 2 月 26 日	「特定行為研修指定研修機関」に指定
令和 2 年 3 月 2 日	「健康経営優良法人」に認定
令和 2 年 3 月 26 日	自院救急車を新規購入
令和 2 年 4 月 1 日	松波総合病院柔道部創部
	松波総合病院メディカルコントロール協議会設立 地域救急搬送支援事業開始
令和 2 年 6 月 5 日	オンライン面会、面談システムの運用開始
令和 2 年 7 月 1 日	令和 2 年度献血推進功労者表彰
令和 2 年 11 月 11 日	Clarix Japan Excellence Award 2020 受賞
令和 2 年 11 月 25 日	岐阜県介護人材育成事業者認定制度<ぎふ・いきいき介護事業者> G1 (グレード 1) 認定
令和 2 年 12 月 1 日	発熱外来ユニット「Gifu CUBE」運用開始
令和 3 年 3 月 22 日	電子カルテシステム更新
令和 3 年 4 月 1 日	こころの発達診療センター開設
	へき地医療拠点病院の指定
令和 3 年 6 月 16 日	「災害時等における一時的な避難場所としての施設提供及び使用に関する協定」を締結
令和 3 年 7 月 1 日	介護・在宅本部設置
令和 3 年 11 月 12 日	Clarix Japan Excellence Award 2021 受賞
令和 3 年 12 月 20 日	熱分解装置「NEO SONIC 2000M」を導入
令和 4 年 1 月 19 日	高周波式ハイパーサーミアシステム「アスクーフ 8」の導入
令和 4 年 4 月 28 日	令和 4 年度清流アスリート・パラスポーツ清流アスリート強化指定証交付
令和 4 年 5 月 13 日	入院中の Wi-Fi 接続サービスの提供開始
令和 4 年 6 月 1 日	松波総合病院東エクステンション棟完成
令和 4 年 6 月 8 日	FFRCT 検査の開始
令和 4 年 6 月 28 日	看護部棟完成
令和 4 年 10 月 5 日	経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) の初症例実施
令和 4 年 11 月 11 日・12 日	第 22 回クリニカルパス学会学術集会開催
令和 5 年 3 月 17 日	WORLD'S BEST HOSPITALS 2023 選出
令和 5 年 4 月 1 日	呼吸器センター開設
	放射線科廃止
	放射線診断科開設
	放射線治療科開設

令和 5 年 4 月 1 日	緩和ケア外来開設
令和 5 年 4 月 12 日	施設名称「まつなみ健康増進クリニック」から「東館」へ変更
令和 5 年 8 月 1 日	紹介受診重点医療機関指定
令和 5 年 9 月 13 日	生体検査システム「BioJet」の導入
令和 6 年 1 月 2 日	能登半島地域へ災害支援活動の職員派遣を実施
令和 6 年 2 月 1 日	女性専用外来開設
令和 6 年 2 月 19 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Xi」導入 ※「ダヴィンチ X」からのバージョンアップ
令和 6 年 3 月 15 日	WORLD'S BEST HOSPITALS 2024 選出
令和 6 年 4 月 1 日	地域がん診療連携拠点病院指定 第一種協定指定医療機関、第二種協定指定医療機関指定 地域医療連携推進法人 美濃国地域医療リンケージ設立
令和 6 年 8 月 1 日	頭痛外来開設
令和 6 年 8 月 7 日	腹腔鏡手術支援ロボット「ANSUR」導入
令和 6 年 10 月 1 日	あたまのかたち外来開設
令和 6 年 12 月 1 日	がんゲノム医療連携病院指定
令和 7 年 2 月 26 日	WORLD'S BEST HOSPITALS 2025 選出
令和 7 年 4 月 1 日	救命救急センター指定 ペットおあずかりセンター開設

2. 現 況

I 設備・機器概要

1. 診療主要装備

- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、1.5 テスラ)
- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、3.0 テスラ)
- ・ 16 列型マルチスライス CT 装置 Light Speed
- ・ 64 列型マルチスライス CT 装置
- ・ 256 列型マルチスライス CT 装置 Revolution
- ・ 心臓カテーテルエックス線撮影装置 (シネ・アンギオ) 2 基
- ・ 内視鏡手術支援ロボット ダヴィンチ Xi
- ・ 体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」
- ・ 多軌道断層エックス線撮影装置
- ・ 泌尿器専用エックス線撮影装置
- ・ 骨密度エックス線測定装置
- ・ 乳房専用エックス線撮影装置
- ・ 歯科用パノラマエックス線撮影装置
- ・ ガンマカメラ・試料測定装置 (RI 検査室)
- ・ 血管造影撮影装置
- ・ 人工透析装置
- ・ 直線加速装置 (リニアック)
- ・ エックス線 TV 装置
- ・ 高周波式ハイパーサーミアシステム「アスクーフ 8」
- ・ 生体検査システム「BioJet」
- ・ 腹腔鏡手術支援ロボット「ANSUR」

2. 診療支援装備

- (1) コンピューターによるオーダーリングシステム
CPU : IBM RS - 6000 (2 基)、AS-400 (1 基)
PC300 P L 105 台、PC300GL 40 台、PC340 15 台 - 自動錠剤分包機にも連動
- (2) コージェネレーションシステム (都市ガス)
需要商用電源の一部補完、低コスト 24 時間空調、給湯
- (3) 三系統電源による無瞬断システム
手術等の場合の電源の緊急対応のセキュリティの確保

II 規模の概況

1. 松波総合病院

許可病床	501 床 (稼動病床 501 床)
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 8 階 地下 1 階
(南館) 建築延面積	約 19,500 平方メートル
敷地面積	約 10,000 平方メートル

構造規模	鉄骨造（S造） 地上7階 ヘリポート
（北館）建築延面積	約18,800平方メートル
敷地面積	約13,400平方メートル
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上3階
（東館）建築延面積	約10,600平方メートル
敷地面積	約13,400平方メートル

2. まつなみ健康増進クリニック

- ・ 2階 診療センター
内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、移植外科、訪問診療
皮膚科、形成外科、乳腺外科、リウマチ科、メンタルケア科（精神科）
- ・ クリニック別館 小児科
- ・ 3階 人間ドック・健診センター
- ・ 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上3階（2、3階まつなみ健康増進クリニック）

3. 松波総合病院介護老人保健施設

- ・ 入所定員 146床（内、ショートステイ10床）
- ・ 通所定員 40人（通所リハビリテーション）
- ・ 南館1～4階

4. 在宅事業部

- ・ まつなみ訪問看護ステーション
- ・ まつなみ訪問介護ステーション
- ・ まつなみケアプランセンター

5. まつなみリサーチパーク

6. その他の施設

- ・ 研修医宿舎 ルドン笠松（11室）
- ・ 看護師宿舎 ホワイトエンゼル笠松Mワンルームマンション 合計2棟（88室）
- ・ 託児所 エンゼル
- ・ その他 患者家族宿泊施設4室
熱分解装置「NEO SONIC 2000M」
- ・ 駐車場 外来患者様用 約500台

7. サービス施設（出店業者）

- ・ セブンイレブン 安田商事（株）
- ・ レストラン 然の膳 （株）フードテックジャパン

【松波総合病院】

施設基準等と診療報酬（基本診療科）

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(情報通信) 第 37 号	情報通信機器を用いた診療に係る基準
2024/06/01	(医療 DX) 第 430 号	医療 DX 推進体制整備加算
2024/10/01	(一般入院) 第 79 号	一般病棟入院基本料 (急性期一般入院料 1)
2024/10/01	(障害入院) 第 7 号	障害者施設等入院基本料 (10 対 1 入院基本料) ・看護補助加算：有り
2024/10/01	(総合 3) 第 6 号	総合入院体制加算 3
2020/04/01	(救急医療) 第 10 号	救急医療管理加算
2008/04/01	(超急性期) 第 7 号	超急性期脳卒中加算
2024/06/01	(診療録 1) 第 5 号	診療録管理体制加算 1
2022/04/01	(事補 1) 第 39 号	医師事務作業補助体制加算 1(15 対 1 補助体制加算)
2025/01/01	(急性看補) 第 3 号	急性期看護補助体制加算 ・夜間看護体制加算：有り ・50 対 1 ・夜間急性期看護補助体制加算 100 対 1
2015/05/01	(特施) 第 10 号	特殊疾患入院施設管理加算
2006/10/01	(療) 第 21 号	療養環境加算
2006/12/01	(重) 第 47 号	重症者等療養環境特別加算
2018/09/01	(無菌 1) 第 9 号	無菌治療室管理加算 1
2021/05/01	(無菌 2) 第 6 号	無菌治療室管理加算 2
2019/05/01	(緩和) 第 15 号	緩和ケア診療加算
2022/04/01	(栄養チ) 第 4 号	栄養サポートチーム加算
2018/04/01	(医療安全 1) 第 2 号	医療安全対策加算 1 ・医療安全対策地域連携加算 1
2024/10/01	(感染対策 1) 第 16 号	感染対策向上加算 1 ・指導強化加算
2012/04/01	(患サポ) 第 32 号	患者サポート体制充実加算
2022/04/01	(重症初期) 第 2 号	重症患者初期支援充実加算
2022/04/01	(報告管理) 第 3 号	報告書管理体制加算
2009/09/01	(褥瘡ケア) 第 10 号	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
2008/04/01	(ハイ妊娠) 第 17 号	ハイリスク妊娠管理加算
2009/04/01	(ハイ分娩) 第 2 号	ハイリスク分娩管理加算
2022/04/01	(地域分娩) 第 1 号	地域連携分娩管理加算
2010/04/01	(呼吸チ) 第 2 号	呼吸ケアチーム加算
2022/12/01	(術後疼痛) 第 2 号	術後疼痛管理チーム加算
2024/05/01	(後発使 1) 第 95 号	後発医薬品使用体制加算 1

2015/09/01	(病棟薬 1) 第 22 号	病棟薬剤業務実施加算 1
2016/04/01	(病棟薬 2) 第 2 号	病棟薬剤業務実施加算 2
2014/04/01	(データ提) 第 12 号	データ提出加算
2024/10/01	(入退支) 第 12 号	入退院支援加算 1 ・入院時支援加算：有り ・地域連携診療計画加算：有り ・総合機能評価加算：有り
2017/06/01	(認知ケア 1) 第 30 号	認知症ケア加算 1
2020/05/01	(せん妄ケア) 第 26 号	せん妄ハイリスク患者ケア加算
2016/04/01	(精疾診) 第 4 号	精神疾患診療体制加算
2018/08/01	(排自支) 第 5 号	排尿自立支援加算
2022/10/01	(地医確保) 第 2 号	地域医療体制確保加算
2024/06/01	(協力施設) 第 6 号	協力対象施設入所者入院加算
2024/10/01	(集 1) 第 3 号	特定集中治療室管理料 1 ・早期離床・リハビリテーション加算：有り ・早期栄養介入管理加算：有り ・算定上限日数延長に係る施設基準：有り
2024/10/01	(ハイケア 1) 第 7 号	ハイケアユニット入院医療管理料 1 ・早期離床・リハビリテーション加算：有り ・早期栄養介入管理加算：有り
2007/05/01	(小入 5) 第 10 号	小児入院医療管理料 5
2024/10/01	(回 1) 第 2 号	回復期リハビリテーション病棟入院料 1
2024/11/01	(地包ケア 2) 第 9 号	地域包括ケア病棟入院料 2 ・看護補助体制充実加算 3：有り ・看護職員配置加算 50 対 1：有り ・看護補助者配置加算 25 対 1：有り

施設基準等と診療報酬（特掲診療科）

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(がん専栄) 第 4 号	外来栄養食事指導料の注 3 加算
2015/02/01	(糖管) 第 43 号	糖尿病合併症管理料
2010/04/01	(がん疼) 第 33 号	がん性疼痛緩和指導管理料
2024/06/01	(難がん疼) 第 1 号	がん性疼痛緩和指導管理料 難治性がん性疼痛緩和指導管理加算
2022/04/01	(がん指イ) 第 2 号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ) 第 7 号	がん患者指導管理料ロ
2018/08/01	(がん指ハ) 第 21 号	がん患者指導管理料ハ
2022/08/01	(がん指ニ) 第 14 号	がん患者指導管理料ニ
2023/04/01	(外緩) 第 13 号	外来緩和ケア管理料
2016/04/01	(糖防管) 第 28 号	糖尿病透析予防指導管理料
2021/09/01	(小運指管) 第 39 号	小児運動器疾患指導管理料

2018/04/01	(乳腺ケア)第3号	乳腺炎重症化予防・ケア指導料
2020/04/01	(婦特管)第23号	婦人科特定疾患治療管理料
2022/04/01	(一妊管)第10号	一般不妊治療管理料
2022/04/01	(生補管1)第3号	生殖補助医療管理料1
2022/12/01	(二骨管1)第31号	二次性骨折予防継続管理料1
2023/04/01	(二骨継2)第29号	二次性骨折予防継続管理料2
2022/12/01	(二骨継3)第83号	二次性骨折予防継続管理料3
2022/09/01	(下創管)第9号	下肢創傷処置管理料
2012/04/01	(トリ)第12号	院内トリアージ実施料
2020/04/01	(救搬看体)第2号	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる「救急搬送看護体制加算1」
2012/04/01	(放射診)第5号	外来放射線照射診療料
2024/06/01	(外化診1)第9号	外来腫瘍化学療法診療料1
2022/04/01	(外化連)第25号	連携充実加算
2024/06/01	(外化薬)第7号	外来腫瘍化学療法診療料 がん薬物療法体制充実加算
2024/09/01	(ニコ)第605号	ニコチン依存症管理料
2023/11/01	(両立支援)第11号	療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
1998/11/01	(開)第7号	開放型病院共同指導料
2010/04/01	(ハイI)第12号	ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
2024/08/01	(がん計)第11号	がん治療連携計画策定料
2013/04/01	(がん指)第464号	がん治療連携指導料
2020/04/01	(外排自)第5号	外来排尿自立指導料
2010/04/01	(肝炎)第13号	肝炎インターフェロン治療計画料
2022/04/01	(こ連指Ⅱ)第10号	こころの連携指導料(Ⅱ)
2010/05/01	(薬)第4号	薬剤管理指導料
2016/07/01	(電情)第26号	検査・画像情報提供加算及び電子的診療
2008/04/01	(機安1)第33号	医療機器安全管理料1
2023/05/01	(機安2)第15号	医療機器安全管理料2
2024/06/01	(介保連)第10号	介護保険施設等連携往診加算
2024/06/01	(救患搬)第3号	救急患者連携搬送料
2012/05/01	(在看)第5号	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
2024/06/01	(訪看DX)第3号	在宅患者訪問看護・指導料 訪問看護医療DX情報活用加算
2015/09/01	(在後病)第9号	在宅療養後方支援病院
2024/06/01	(遠隔持陽)第101号	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 遠隔モニタリング加算
2024/03/01	(在電場)第7号	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
2016/08/01	(持血測1)第16号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定

2020/06/01	(持血測 2) 第 6 号	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
2016/04/01	(遺伝検 1) 第 3 号	遺伝学的検査
2025/03/01	(骨残測) 第 5 号	骨髓微小残存病変量測定
2022/07/01	(BRCA) 第 23 号	BRCA1/2 遺伝子検査
2025/01/01	(がんプロ) 第 9 号	がんゲノムプロファイリング検査
2010/04/01	(HPV) 第 36 号	HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
2024/06/01	(ウ細髄液) 第 1 号	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 (髄液)
2019/01/01	(検Ⅳ) 第 22 号	検体検査管理加算 (4)
2023/08/01	(遺伝カ) 第 12 号	遺伝カウンセリング加算
2025/01/01	(遺伝腫カ) 第 9 号	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
2010/04/01	(血内) 第 13 号	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
2012/04/01	(歩行) 第 5 号	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
2012/04/01	(ヘッド) 第 1 号	ヘッドアップティルト試験
2010/04/01	(長) 第 8 号	長期継続頭蓋内脳波検査
2008/04/01	(神経) 第 17 号	神経学的検査
2016/05/01	(コン 1) 第 222 号	コンタクトレンズ検査料 1
2006/04/01	(小検) 第 2 号	小児食物アレルギー負荷検査
2023/10/01	(前立腺) 第 5 号	前立腺針生検法 (MRI 撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
2020/04/01	(経気凍) 第 1 号	経気管支凍結生検法
2008/04/01	(画 2) 第 8 号	画像診断管理加算 2
2008/06/01	(ポ断) 第 14 号	ポジトロン断層撮影
2012/04/01	(C・M) 第 226 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (16 列 CT)
2012/04/01	(C・M) 第 228 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (1.5 テスラ MRI)
2014/07/01	(C・M) 第 433 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (64 列 OptimaCT600)
2017/04/01	(C・M) 第 471 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (3 テスラ MRI)
2020/12/01	(C・M) 第 563 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (64 列 OptimaCT660)
2022/12/01	(C・M) 第 608 号	CT 撮影及び MRI 撮影 (270 列 CT)
2010/03/01	(冠動 C) 第 13 号	冠動脈 CT 撮影加算
2022/04/01	(血予備断) 第 2 号	血流予備量比コンピューター断層撮影
2014/07/01	(心臓 M) 第 17 号	心臓 MRI 撮影加算
2023/02/01	(乳房 M) 第 9 号	乳房 MRI 撮影加算
2021/07/01	(頭部 M) 第 3 号	頭部 MRI 撮影加算
2020/05/01	(全身 M) 第 2 号	全身 MRI 撮影加算
2010/04/01	(抗癌処方) 第 6 号	抗癌性腫瘍剤処方管理加算
2008/04/01	(外化 1) 第 34 号	外来化学療法加算 1

2008/04/01	(菌) 第 58 号	無菌製剤処理料
2019/08/01	(心 I) 第 33 号	心大血管疾患リハビリテーション料 (1) ・初期加算：有り
2012/04/01	(脳 I) 第 12 号	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1) 及び廃用症候群リハビリテーション料 (1) ・初期加算：有り
2012/04/01	(運 I) 第 12 号	運動器リハビリテーション料 (1) ・初期加算：有り
2012/04/01	(呼 I) 第 23 号	呼吸器リハビリテーション料 (1) ・初期加算：有り
2010/09/01	(がんリハ) 第 1 号	がん患者リハビリテーション料
2018/04/01	(集コ) 第 24 号	集団コミュニケーション療法料
2020/04/01	(静圧) 第 1 号	静脈圧迫処置 (慢性静脈不全に対するもの)
2010/04/01	(エタ甲) 第 8 号	エタノールの局所注入 (甲状腺)
2010/04/01	(エタ副甲) 第 5 号	エタノールの局所注入 (副甲状腺)
2018/04/01	(人工腎臓) 第 15 号	人工腎臓
2018/04/01	(導入 1) 第 11 号	導入期加算 1
2014/03/01	(透析水) 第 38 号	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
2016/04/01	(肢梢) 第 13 号	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
2024/06/01	(スト合) 第 3 号	ストーマ合併症加算
2017/07/01	(組再乳) 第 2 号	組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)
2022/12/01	(緊整固) 第 13 号	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
2018/04/01	(後縦骨) 第 1 号	後縦靱帯骨化症手術 (前方進入によるもの)
2020/04/01	(椎醇注) 第 1 号	椎間板内酵素注入療法
2024/06/01	(緊穿除) 第 4 号	緊急穿頭血腫除去術
2002/09/01	(脳刺) 第 7 号	脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術
2002/09/01	(脊刺) 第 5 号	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
2002/04/01	(癒脊膜) 第 1 号	癒着性脊髄くも膜炎手術 (脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
2002/09/01	(仙神交便) 第 4 号	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (便失禁)
2002/09/01	(仙神交膀) 第 2 号	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (過活動膀胱)
2022/07/01	(緑内眼ド) 第 19 号	緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
2022/07/01	(緑内 ne) 第 6 号	緑内障手術 (濾過法再建術 (needle 法))
2018/11/01	(内下) 第 4 号	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術
2010/04/01	(乳セ 1) 第 2 号	乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)
2010/04/01	(乳セ 2) 第 3 号	乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
2016/10/01	(乳腫) 第 4 号	乳腺悪性腫瘍手術 (乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))
2017/07/01	(ゲル乳再) 第 2 号	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)

2024/11/01	(乳腺ラ)第5号	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
2023/12/01	(胸腔縦悪支)第3号	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2023/12/01	(胸腔縦支)第3号	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2024/06/01	(気バ留)第1号	気管支バルブ留置術
2024/06/01	(胸腔肺支)第2号	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2023/04/01	(胸腔肺悪区)第3号	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2016/04/01	(肺腫)第1号	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
2023/04/01	(胸腔肺悪)第3号	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2023/05/01	(胸腔形成)第3号	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
2024/07/01	(肺ラ)第2号	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
2018/04/01	(穿瘻閉)第1号	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
2020/04/01	(経特)第14号	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
2021/03/01	(胸腔弁形)第5号	胸腔鏡下弁形成術
2021/03/01	(胸腔下置)第5号	胸腔鏡下弁置換術
2022/09/01	(カ大弁置)第5号	経カテーテル弁置換術(経皮的大動脈弁置換術)
2024/02/01	(不整胸腔)第4号	不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)に限る。)
2010/04/01	(経中)第7号	経皮的中隔心筋焼灼術
1998/04/01	(ペ)第13号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
2018/08/01	(ペリ)第9号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
2014/05/01	(両ペ静)第10号	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
2014/05/01	(除静)第12号	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
2014/05/01	(両除静)第10号	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
1998/04/01	(大)第9号	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
2020/04/01	(経下肢動)第1号	経皮的下肢動脈形成術
2022/04/01	(腹リ傍側)第3号	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
2024/07/01	(骨盤ラ)第3号	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
2024/12/01	(腹十二局)第4号	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)

2021/02/01	(腹胃切支)第5号	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹側胃切支)第4号	腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹胃全)第4号	腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2019/02/01	(バ経静脈)第5号	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
2011/07/01	(腹肝)第4号	腹腔鏡下肝切除術
1998/09/01	(生)第1号	生体部分肝移植術
2012/04/01	(腹臍切)第2号	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
2023/04/01	(腹臍切支)第1号	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2015/01/01	(早大腸)第13号	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
2023/07/01	(腹結悪支)第3号	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2022/04/01	(腹直腸切支)第7号	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2004/03/01	(腎)第18号	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
2016/04/01	(腹腎尿支器)第2号	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び 腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
2024/06/01	(腎悪ラ)第1号	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
2020/07/01	(膀胱ハ間)第8号	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
2024/08/01	(腹膀)第9号	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
2024/07/01	(尿狭再)第1号	尿道狭窄グラフト再建術
2024/07/01	(精温)第1号	精巣温存手術
2022/04/01	(精精採)第1号	精巣内精子採取術
2013/09/01	(腹前支器)第3号	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
2022/04/01	(体膜肺)第3号	体外式膜型人工肺管理料
2025/01/01	(胃瘻造)第69号	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
2024/10/01	(乳切遺伝)第4号	遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する乳房切除術
2024/10/01	(子宮附遺伝)第5号	遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
2022/04/01	(周尿管)第3号	周術期栄養管理実施加算
2016/10/01	(輸血I)第15号	輸血管理料1
2016/10/01	(輸適)第31号	輸血適正使用加算
2018/04/01	(貯輸)第4号	貯血式自己血輸血管理体制加算
2012/06/01	(造設前)第21号	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
2025/01/01	(胃瘻造嚥)第54号	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
1996/07/01	(麻管I)第14号	麻酔管理料(1)
2010/08/01	(麻管II)第5号	麻酔管理料(2)
2022/04/01	(周薬管)第2号	周術期薬剤管理加算
2023/05/01	(放専)第19号	放射線治療専任加算

2023/05/01	(外放)第17号	外来放射線治療加算
2016/04/01	(高放)第24号	高エネルギー放射線治療
2024/10/01	(増線)第17号	一回線量増加加算
2023/07/01	(連携診)第12号	保険医療機関間の連携による病理診断
2020/03/01	(病理診2)第8号	病理診断管理加算2
2018/04/01	(悪病組)第1号	悪性腫瘍病理組織標本加算
2022/10/01	(看処遇45)第1号	看護職員処遇改善評価料45
2024/06/01	(外在べI)第130号	外来・在宅ベースアップ評価料(I)
2024/10/01	(入べ60)第2号	入院ベースアップ評価料60

施設基準等と診療報酬(入院時食事療養)

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
1931/02/01	(食)第178号	入院時食事療法(I)

施設基準等と診療報酬(歯科)

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2024/11/01	(医療DX)第1198号	医療DX推進体制整備加算
2019/06/01	(病初診)第31号	地域歯科診療支援病院歯科初診料
2024/06/01	(外安全2)第143号	歯科外来診療環境体制加算2
2024/06/01	(外感染4)第2号	歯科外来診療感染対策加算4
2018/04/01	(医管)第847号	歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
2018/04/01	(歯リハ2)第209号	歯科口腔リハビリテーション料2
2024/06/01	(歯技連I)第40号	歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算
2021/02/01	(歯CAD)第910号	CAD/CAM冠
2018/04/01	(補管)第1583号	クラウン・ブリッジ維持管理料
2024/06/01	(歯外在べI)第128号	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)

施設基準等と診療報酬(先進医療料)

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2023/08/01	(先-346)第5号	子宮内膜刺激術(SEET法)
2024/08/01	(先-347)第4号	タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養
2023/04/01	(先-349)第3号	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術
2023/04/01	(先-352)第2号	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術
2023/06/01	(先-370)第1号	膜構造を用いた生理学的精子選択術(マイクロ流体技術を用いた精子選別)

施設基準等と診療報酬（その他の届出）

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(酸単) 第 12047 号	酸素の単価

【まつなみ健康増進クリニック】**施設基準等と診療報酬（基本診療科）**

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
		該当なし

施設基準等と診療報酬（特掲診療科）

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(情報通信) 第 39 号	情報通信機器を用いた診療に係る基準
2024/06/01	(外来感染) 第 120 号	外来感染対策向上加算
2022/04/01	(連携強化) 第 86 号	連携強化加算
2022/06/01	(サ強化) 第 13 号	サーベイランス強化加算
2024/12/01	(抗薬適) 第 22 号	抗菌薬適正使用体制加算
2024/06/01	(医療 DX) 第 431 号	医療 DX 推進体制整備加算
2020/04/01	(外来食指) 第 6 号	外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準
2020/05/01	(遠隔ペ) 第 21 号	心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算
2008/06/01	(糖管) 第 12 号	糖尿病合併症管理料
2013/08/01	(がん疼) 第 126 号	がん性疼痛緩和指導管理料
2022/04/01	(がん指イ) 第 24 号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ) 第 8 号	がん患者指導管理料ロ
2017/06/01	(がん指ハ) 第 19 号	がん患者指導管理料ハ
2022/08/01	(がん指ニ) 第 13 号	がん患者指導管理料ニ
2012/04/01	(糖防管) 第 8 号	糖尿病透析予防指導管理料
2025/02/01	(支援診 1) 第 18 号	在宅療養支援診療所 (別添 1 の「第 9」の 1 の (1))
2010/04/01	(肝炎) 第 11 号	肝炎インターフェロン治療計画料
2024/08/01	(プログラム) 第 27 号	プログラム医療機器等指導管理料
2024/06/01	(在宅 DX) 第 57 号	在宅患者訪問診療料 (I) 在宅医療 DX 情報活用加算
2023/11/01	(在医総管 1) 第 740 号	在宅時医学総合管理料及び施設入居時医学総合管理料
2016/07/01	(在看) 第 17 号	在宅患者訪問看護・指導料
2014/04/01	(持血測 1) 第 2 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合
2012/12/01	(持血側 1) 第 6 号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定
2020/04/01	(持血測 2) 第 6 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合
2022/04/01	(BRCA) 第 22 号	BRCA1/ 2 遺伝子検査

2020/04/01	(先代異) 第 1 号	先天性代謝異常症検査
2024/11/01	(連携診) 第 18 号	保険医療機関間の連携による病理診断
2024/06/01	(外在ベⅠ) 第 131 号	外来・在宅ベースアップ評価料 (Ⅰ)
2024/06/01	(外在ベⅡ 1) 第 7 号	外来・在宅ベースアップ評価料 (Ⅱ)

施設基準等と診療報酬 (その他の届出)

2025.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(酸単) 第 12049 号	酸素の単価

医学会関連研修・修練施設認定及び指定

学会認定施設

2025.3.31 現在

日本整形外科学会専門研修連携施設
日本眼科学会専門研修連携施設
日本麻酔科学会専門研修基幹施設
日本泌尿器科学会専門研修連携施設
日本病理学会専門研修連携施設
日本脳神経外科学会専門研修連携施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本外科学会専門研修連携施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本内科学会専門研修基幹施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本内分泌学会認定教育施設（産婦人科）
日本内分泌学会認定教育施設（内科）
日本消化器病学会認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設
日本呼吸器学会専門研修認定施設
日本栄養治療学会 NST 稼働施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本インターベンショナルラジオロジー（IVR）学会専門医修練認定施設
日本形成科学会専門研修連携施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本高血圧学会高血圧認定研修施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本透析医学会認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設
日本手外科学会手外科認定研修施設
日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
日本産科婦人科学会専門研修基幹施設
日本内分泌外科学会専門医制度認定施設
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エクスパンダー実施施設

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
日本ステントグラフト実施基準管理委員会浅大動脈ステントグラフト実施施設
日本腎臓学会認定教育施設
日本胆道学会認定指導医制度指導施設認定
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関（画像診断・IVR、核医学）
日本血液学会専門研修認定施設
日本肥満学会認定肥満症専門病院
日本膵臓学会認定指導施設
日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設
日本歯科麻酔学会研修機関
日本脳卒中学会一次脳卒中センター（PSC）
日本肝臓学会認定施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本脈管学会認定研修指定施設
日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定施設（I & A 制度認定施設）
経カテーテルの心臓弁治療関連学会協議会経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設
日本専門医機構総合診療専門研修基幹施設
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門研修連携施設
National Clinical Database NCD 施設会員
日本循環器学会左心耳閉鎖システム認定施設
日本病態栄養学会栄養士研修実地修練施設
日本医学放射線学会画像診断管理認証施設「適切な被ばく管理に関する事項」
日本医学放射線学会画像診断管理認証施設「全身 MRI に関する事項」
日本緩和医療学会認定研修施設
日本口腔科学会研修施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
日本乳癌学会認定施設
日本臨床細胞学会施設認定
日本胃癌学会認定施設 B

主要機関指定

2025.3.31 現在

保険医療機関

臨床研修病院（医科）

へき地医療拠点病院

新型インフルエンザ等対策特別措置法による指定地方公共機関（社会医療法人蘇西厚生会として登録）

岐阜 DMAT 指定病院

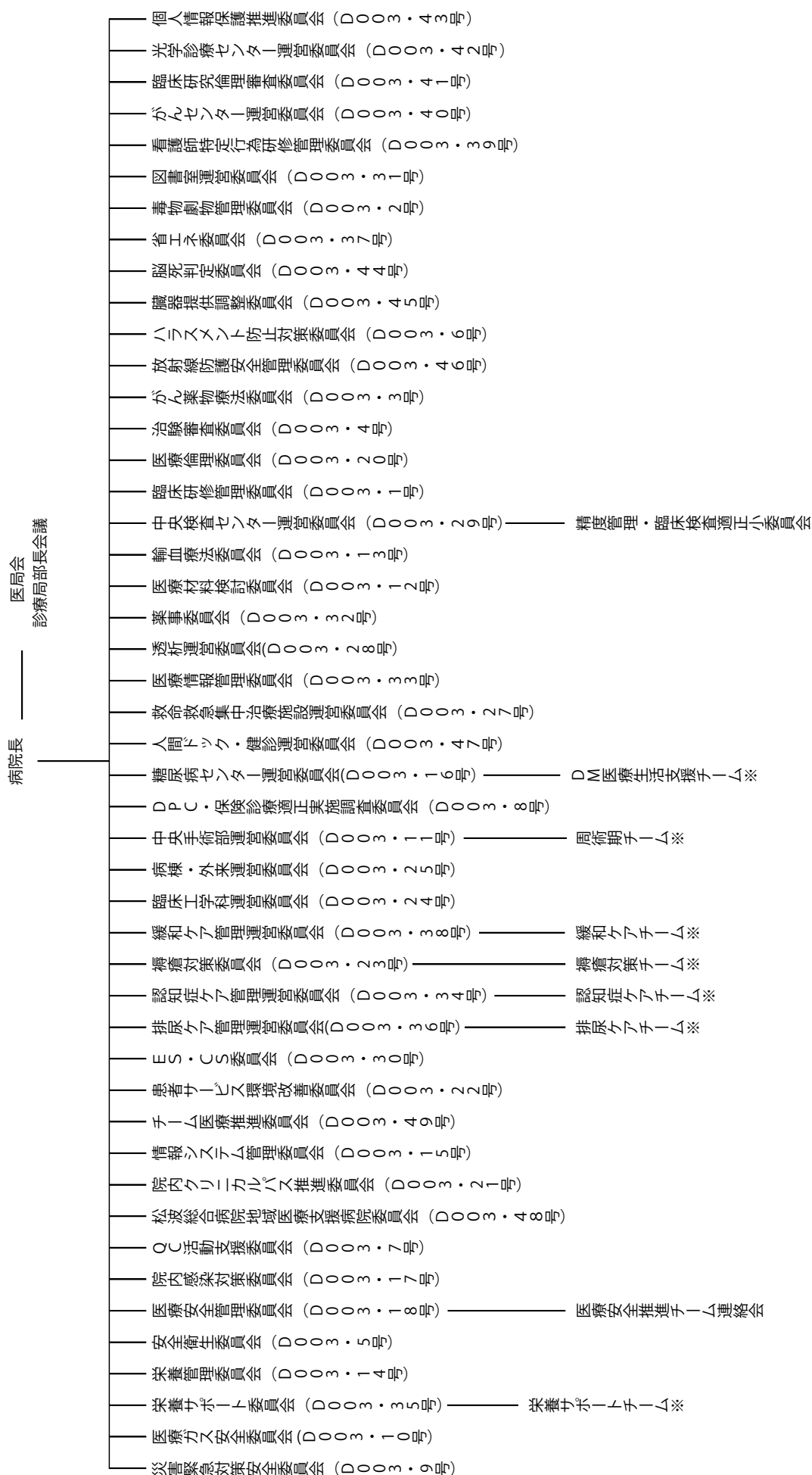
災害拠点病院（地域災害医療センター）

地域医療支援病院

岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関

岐阜県高次脳機能障害支援事業協力医療機関
救急告示病院
特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構認定病院
日本医療機能評価機構（3rdG : Ver.2.0）認定病院
松波総合病院障害者短期入所事業所
全国がん登録における指定診療所（まつなみ健康増進クリニック）
日本マタニティフィットネス協会登録施設
臨床研修施設（歯科）
紹介受診重点医療機関
地域がん診療連携拠点病院
第一種協定指定医療機関、第二種協定指定医療機関
がんゲノム医療連携拠点病院

松波総合病院 委員会組織図



平成15年7月23日施行
令和7年3月31日更新

※印は、チーム医療推進委員会の構成員として機能する。

委員会構成総括表

2025 年 3 月 31 日現在

委員会の名称	任務	開催回数	○委員長 ○副委員長 △事務責任者			
			職位	氏名	職位	氏名
QC 活動支援委員会	医療の質業務改善等全般	年 4 回	◎ 病院長補佐	足 立 明 隆	△ 病院事務部医事課課長	村 山 弘 三
DPC・保険診療適正実施調査委員会 ※	保険請求業務の改善	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 病院事務部医事課課長	鶴 見 寿 社 本 六 起	△ 病院事務部医事課課長	戸 崎 未 悠
災害緊急対策安全委員会 ※※	緊急災害対策施行	年 2 回	◎ 救急科部長 ○ 業務部部長	八十川 雄 図 杉 原 浩 二	△ 病院事務部医事課	宮 地 昌 孝
薬事委員会 ※※	薬剤の調達管理	年 4 回	◎ 副院長 兼 医療本部副本部長 ○ 薬剤部部長	村 井 敏 博 松 本 利 恵	△ 薬剤部主任	松 崎 南 美
医療ガス安全委員会 ※※	医療ガスの安全管理	年 2 回	◎ 副院長 ○ 業務部部長	松 波 紀 行 杉 原 浩 二	△ 業務部課長	津 田 基 樹
中央手術部運営委員会	手術室の運営	月 1 回	◎ 副院長 ○ 外科部長	松 波 紀 行 木 村 真 樹	△ 手術室看護師長	脇 坂 志 保
医療材料検討委員会	医療材料採用管理	月 1 回	◎ 副院長 ○ 業務部部長	森 田 則 彦 杉 原 浩 二	△ 業務部副部長	古 田 将 人
輸血療法委員会 ※※	輸血療法の安全管理	年 6 回	◎ 病院長代理 ○ 中央検査室課長	鶴 見 寿 森 本 剛 史	△ 中央検査室主任	角 田 明 美
栄養管理委員会 ※※	栄養管理業務 食品衛生管理	年 4 回	◎ 副院長 ○ 栄養科課長	林 慎 堀 弘 美	△ 栄養科主任	山 平 由 佳
安全衛生委員会 ※※	職員の健康安全	月 1 回	◎ 副院長 ○ 人間ドック・健診センター主任	林 慎 照 井 佳 子	△ 人事部部長	伊 藤 裕 史
情報システム管理委員会	医療情報システムの管理運営	年 2 回	◎ 副院長 ○ 病院長 ○ システム開発・管理部部長	林 慎 松 波 和 寿 山 北 慎 吾	△ システム開発・管理部課長	可 兒 竜 太
人間ドック・健診運営委員会	人間ドック業務	年 1 回	◎ 人間ドック・健診センター長 ○ 人間ドック・健診センター部長	林 慎 佐 伯 正 人	△ 人間ドック・健診センター副主任	林 宏 彰
糖尿病センター運営委員会	生活習慣病の管理 チーム医療の確立 病診連携の推進	年 1 回	◎ 副院長 ○ 看護本部長 ○ 病院長補佐	林 慎 伊 藤 妙 登 美 足 立 明 隆	△ 栄養科副主任	五 家 美 幸
院内感染対策委員会 ※	感染管理	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 感染管理認定看護師長	鶴 見 寿 文 字 雅 義	△ 院内感染対策室	小 池 香 菜 美
医療安全管理委員会 ※	医療事故防止対策	月 1 回	◎ 副院長 ○ 医療管理監視役 ○ 看護本部長	春日井 敏 夫 日 置 敦 巳 伊 藤 妙 登 美	△ クオリティー管理部副主任	新 改 成 臣
松波総合病院地域医療支援病院委員会	地域医療支援病院のための改善、提案	年 4 回	◎ ひらたクリニック名誉院長	平 田 俊 文	△ 地域医療介護連携室部長	西 川 哲 史
医療倫理委員会 ※※	医療に伴う倫理	年 5 回	◎ 医療管理監視役 ○ 内分泌臨床研究センター長	日 置 敦 巳 今 井 篤 志	△ 経営企画部企画課課長	松 岡 祐 也
院内クリニカルパス推進委員会	クリニカルパスの推進管理	月 1 回	◎ 副院長 ○ 副看護部長	草 深 裕 光 筋 野 恵 里	△ 診療情報管理課主任	波 谷 美 香

患者サービス環境改善委員会	施設及び設備の改善を含む患者サービス	年 3 回	◎ 小児科部長 ○ 看護本部長	林 照 恵 伊藤 妙登美	△ 業務部主任	奥 田 哲 也
ハラスメント防止対策委員会 ※※	ハラスメントの防止及び排除並びに発生時の対応	年 3 回	◎ 医療管理監視役 ○ 事務本部長	日 置 敦 巳 杉 下 実	△ 人事部部长	伊 藤 裕 史
褥瘡対策委員会 ※	入院患者の褥瘡予防管理	月 1 回	◎ 形成外科部長 ○ 皮膚・排泄ケア認定看護師	北 澤 健 奥 田 容 子		
臨床工学科運営委員会	医療機器の保守・管理	年 4 回	◎ 副院長	森 田 則 彦	△ 臨床工学科副部長	平 澤 孝 幸
病棟・外来運営委員会	病棟及び救急外来管理運営並びに外来業務の管理運営とその連携	月 1 回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	森 田 則 彦 伊藤 妙登美	△ クオリティー管理部 副主任	新 改 成 臣
救命救急集中治療施設運営委員会	救命救急集中治療施設の管理運営	月 1 回	◎ 救急科部長 ○ 循環器内科部長 ○ 麻酔科副部長	八十川 雄 図 小 島 好 修 田 中 垂 季	△ 地域医療介護連携室主任	吉 村 尚 展
透析運営委員会 ※	透析センター及び血液浄化センターの運営管理	月 1 回	◎ 人工透析センター長	石田 健一郎	△ 臨床工学科主任	青 木 真 矢
臨床研修管理委員会 ※	医師研修の運営	年 7 回	◎ 副院長	村 山 正 憲	△ 臨床研修センター課 長	林 幸 太 郎
中央検査センター運営委員会 ※	検査センター業務の運営管理	月 1 回	◎ 中央検査センター顧問 ○ 中央検査室部長	岡 垣 篤 彦 後 藤 幸 雄	△ 中央検査室主任	橋 本 あゆみ
精度管理・臨床検査適正小委員会※	精度管理・臨床検査適正化及び運営管理	月 1 回	◎ 中央検査センター顧問 ○ 中央検査室部長	岡 垣 篤 彦 後 藤 幸 雄	△ 中央検査室主任	橋 本 あゆみ
治験審査委員会※※	治験審査の運営管理	月 1 回	◎ 内分泌臨床研究センター長 ○ 薬剤部部長	今 井 篤 志 松 本 利 恵	△ 病院事務部医事課長	栗 野 謙 一
臨床研究倫理審査委員会※※	治験審査の運営管理	月 1 回	◎ 内分泌臨床研究センター長 ○ 薬剤部部長	今 井 篤 志 松 本 利 恵	△ 病院事務部医事課長	栗 野 謙 一
E S ・ C S 委員会	患者・職員満足度向上	年 1 回	◎ 副院長 ○ クオリティー管理部部長	松 波 紀 行 足 立 成 道	△ クオリティー管理部部長	足 立 成 道
がん薬物療法委員会※	がん薬物療法に関する管理・運営	月 1 回	◎ 血液・腫瘍内科部長 ○ 薬剤部部長	原 武 志 松 本 利 恵	△ 薬剤部主任	横 山 英 典
放射線防護安全管理委員会※※	放射線防護安全管理に関する管理・運営	年 2 回	◎ 放射線診断科部長 ○ 放射線治療科部長 ○ 温熱療法センター長	伊 原 昇 林 昌 秀 福 田 武		
臓器提供調整委員会※※	臓器提供の調整	随時	◎ 病院長 ○ 副院長	松 波 和 寿 松 波 紀 行	△ クオリティー管理部部長	足 立 成 道
脳死判定委員会※※	脳死判定	随時	◎ 救急科部長 ○ 副看護部長	八十川 雄 図 大 野 智 子	△ クオリティー管理部 長	足 立 成 道
チーム医療推進委員会	各チーム医療の推進及び普及	年 6 回	◎ 副院長 ○ 薬剤部部長	森 田 則 彦 松 本 利 恵	△ 病院事務部部長	小 林 弘 明
医療情報管理委員会 ※	医療情報全般の管理及びデータ管理	年 6 回	◎ 副院長 ○ 副院長	林 慎 草 深 裕 光	△ 診療情報管理課	中村 稚香子

省エネ委員会	省エネの推進	年 5 回	◎ 事務本部長 ○ 業務部課長	杉 下 実 津 田 基 樹	△ 業務部課長	津 田 基 樹
毒物劇物管理委員会	毒劇物管理および保健衛生上の危害防止	年 2 回	◎ 病理診断科副部長 ○ 薬剤部部長	川 島 啓 佑 松 本 利 恵	△ 病理検査室副主任	栗 本 幸 奈
図書室運営委員会	図書の購入並びに管理運営	年 1 回	◎ 副院長 ○ 経営企画部部長	林 慎 残 馬 仁	△ 経営企画部総務課	奥 田 茉 佑
認知症ケア管理運営委員会	入院患者の認知症予防管理	年 6 回	◎ 精神科部長 ○ 認知症看護認定看護師	小 島 久 典 川 崎 葉 子	△ 病院事務部医事課	青 山 加 奈
排尿ケア管理運営委員会	入院・外来患者の継続的排尿自立支援	年 6 回	◎ 泌尿器科医員 ○ 南館 5 階病棟看護副師長	近 藤 啓 美 鵜 飼 淳	△ 病院事務部医事課副主任	木 村 愛 美
栄養サポート委員会	栄養サポートの推進及び普及	年 6 回	◎ 副院長 ○ 内科医員	林 慎 山 本 奈 央 子	△ 栄養科副主任	山 平 由 佳
緩和ケア管理運営委員会	入院患者の緩和ケアを実施し苦痛緩和に取り組む	年 6 回	◎ 副院長 ○ 副院長	春日井 敏夫 松 波 紀 行	△ 診療支援部副部長	社 本 六 起
看護師特定行為研修管理委員会※※	特定行為研修の運営・管理	年 2 回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	林 慎 伊 藤 妙 登 美	△ 経営企画部部長	残 馬 仁
がんセンター運営委員会	がんセンターに関する管理・運営	月 1 回	◎ 病院長代理 兼 がんセンター長	鶴 見 寿	△ がんセンター部長	山 田 源 久
光学診療センター運営委員会	センターの運営、機器等の設備、マニュアル、同意書等の整備	月 1 回	◎ 副院長 兼 光学診療センター長 ○ 副院長 兼 第一消化器内科部長	荒 木 寛 司 田 上 真	△ 看護部内視鏡事務員	井 亦 あ ゆ 美
個人情報保護推進委員会	重大な個人情報漏えい等に関する際に対応	必要に応じて	◎ 医療管理監視役 ○ 人事部部長	日 置 敦 巳 伊 藤 裕 史	△ クオリティー管理部副主任	新 改 成 臣

※ 診療報酬上必要な委員会

※※ 医療等必要な委員会

会議体構成総括表

2025.3.31 時点

会議の名称	任務	開催回数	◎議長 ○副議長 △事務責任者				その他 構成員
			職位	氏名	職位	氏名	
理事会	医療法人の管理運営に関すること 賞罰に関すること	月/第4月曜日 その他必要に応じ	◎ 理事長 ○ 病院長 ○ 事務本部長	松 波 英 寿 松 波 和 寿 杉 下 実	△ 事務本部副本部長	内 堀 松 雄	【医師部門】 花立史香・平山宏史 【看護部門】 伊藤妙登美
			◎ 理事長 ○ 病院長 ○ 事務本部長	松 波 英 寿 松 波 和 寿 杉 下 実	△ 事務本部副本部長 △ 経営企画部部長	内 堀 松 雄 残 馬 仁	【医師部門】 松波英一・森脇久隆・富田栄一・花立史香・平山宏史・鶴見寿・森田則彦・村山正憲・林慎・村井敏博・春日井敏夫・松波紀行・田上真・草深裕光・荒木寛司・諏訪哲也・杉原潤一・野々村諭香・八十川雄図 【看護部門】 伊藤妙登美
法人経営会議							【事務・コメディカル・関連施設関係】 (診療局) 足立明隆・(薬剤部) 松本利恵・(人間ドック・健診センター) 佐伯正人・(コンサルタント) 荒木信生
医局会議	病院の運営に関すること	月 1 回	◎ 病院長	松 波 和 寿	△ 診療局長	林 慎	【医師部門】 全医局員
診療局部長会議	病院の運営に関すること	月 1 回	◎ 病院長 ○ 診療局長	松 波 和 寿 林 慎	△ 病院事務部医事課長 △ 病院事務部医事課長 △ 病院事務部医事課長	栗 野 謙 一 村 山 弘 三 長 谷 部 祐 騎	【医師部門】 各診療科部長・副部長
事務管理者会議	病院の運営に関すること	月 2 回	◎ 事務本部長	杉 下 実	△ 人事部部长	伊 藤 裕 史	【事務・コメディカル・関連施設関係】 事務本部長が指名した事務・コメディカル
看護師長会議	病院及び看護部の運営に関すること	月 2 回	◎ 看護本部長 ○ 副看護部長 ○ 副看護部長 ○ 副看護部長 ○ 副看護部長	伊藤 妙登美 佐藤 裕子 筋野 恵里 大野 智子 小園 典子	△ 各師長 (交代)		【看護部門】 看護師長・看護部長が指名した看護師

勤務医等負担 軽減会議	勤務医等の負担軽減 減に関すること	年2回	◎ 病院長 ○ 事務本部長	松波 和 寿 杉 下 実	△ 人事部部长	伊 藤 裕 史	【医師部門】 診療局長、診療支援部長、病院顧問 【看護部門】 看護本部長 【事務・コメディカル関係】 病院長補佐、病院事務部長、中央検査室部長、中央放射線室部長、リハビリテーション技術室部長、臨床工学科部長、薬剤部長、地域医療介護連携室部長、秘書室課長、臨床研修医室課長、栄養科課長
----------------	----------------------	-----	------------------	-----------------	---------	---------	--

医師プロフィール（医長以上）

（2025 年 3 月 31 日現在）

【総合内科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
村山正憲	内科一般 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会 日本専門医機構	認定内科医 認定内科専門医 総合内科専門医 指導医 内分泌代謝科(内科)専門医 指導医 認定病院総合診療医 総合診療専門研修特 任指導医	日本内科学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会
諏訪哲也	内科一般 内分泌 糖尿病 高血圧	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会・ 日本糖尿病学会 日本肥満学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 内分泌代謝科(内科)専門医 指導医 糖尿病専門医 内分泌代謝・糖尿病 内科領域研修指導医 肥満症特例指導医	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本炎症・再生学会 日本高血圧学会 日本老年医学会 日本臨床免疫学会 日本ステロイドホルモン学会 日本肥満治療学会 米国内分泌学会
傍島卓也	内科一般	日本内科学会 日本内科学会	認定内科医 総合内科専門医	日本内科学会
山田梨絵	内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本プライマリ・ケア 連合学会 日本プライマリ・ケア 連合学会 日本病院総合診療医学会 日本専門医機構	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 内分泌代謝科(内科)専門医 指導医 認定医 指導医 認定病院総合診療医 総合診療専門研修特 任指導医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本高血圧学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本病院総合診療医学会 日本リウマチ学会

小出祐也	糖尿病	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会・ 日本糖尿病学会	認定内科医 内分泌代謝科(内科)専門医 糖尿病専門医 内分泌代謝・糖尿病 内科領域専門研修指 導医	
------	-----	---	--	--

【内科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
村井敏博	総合内科 消化器疾患 内分泌・代謝学 (糖尿病)	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 研修指導医 認定 ICD	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本感染症学会
草深裕光	内科一般 膠原病 感染症 医療情報	日本内科学会 日本内科学会 日本透析医学会 米国内科学会 日本医師会 日本医療情報学会	認定内科医 総合内科専門医 透析専門医 FACP (Fellow of the American College of Physicians) 認定産業医 社会医学系専門医	日本内科学会 米国内科学会 (ACP) 日本透析医学会 日本医療情報学会 日本クリニカル・パス学会
杉本浩志	循環器疾患 一般外科			
森下哲司	循環器内科	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 日本心血管インター ベンション治療学会 認定医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心臓病学会 日本心血管インターベンション治 療学会

【医療管理】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
日置敦巳	感染症対策 健康管理	ICD 制度協議会 日本医師会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会	認定 ICD 認定産業医 社会医学系専門医 指導医	日本感染症学会 日本産業衛生学会 日本内科学会 日本人間ドック・予防医療学会

【消化器内科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
富田栄一	消化器疾患 ウイルス肝炎 (B型、C型) 脂肪肝 (NASH) その他肝胆膵疾患	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本医師会	認定内科医 消化器病専門医 指導医 功労会員 消化器内視鏡専門医 指導医 功労会員 肝臓専門医 指導医 認定産業医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本膵臓学会 日本医療マネジメント学会 日本糖尿病学会 日本臨床腫瘍学会 日本超音波医学会 日本消化管学会
田上 真	肝臓治療全般	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 指導医 肝臓専門医 指導医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本門脈圧亢進症学会 日本肝臓学会 リザーバー研究会 日本緩和医療学会
荒木寛司	消化器内視鏡診断・ 治療 炎症性腸疾患 門脈圧亢進症	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化管学会 日本消化管学会 日本門脈圧亢進症学会 日本門脈圧亢進症学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 東海地方会評議員 消化器病専門医 指導医 評議員 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 社団評議員 東海支部幹事 東海支部評議員 胃腸科専門医 指導医 技術認定医 評議員	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本門脈圧亢進症学会 日本消化管学会

杉原潤一	肝臓病学 消化器病学	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 ICD 制度協議会 日本医師会	認定内科医 消化器病専門医 指導医 名誉支部会員 消化器内視鏡専門医 指導医 肝臓専門医 指導医 認定 ICD 認定産業医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本急性肝不全研究会 日本感染症学会 日本医療マネジメント学会
伊藤康文	消化器疾患 内分泌代謝疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 糖尿病専門医 研修指導医 内分泌代謝科(内科)専門医 領域指導医 肝臓専門医 ピロリ菌感染症認定医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会 腸内細菌学会 日本臨床腸内微生物学会 日本炎症性腸疾患学会 日本消化器免疫学会
浅野剛之	消化器疾患・IVR 総合内科 内分泌・代謝疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本化学療法学会 ICD 制度協議会 日本救急医学会 日本内科学会 日本スポーツ協会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 抗菌化学療法指導医 認定 ICD ICLS・BLS コースイ ンストラクター JMECC インストラクター スポーツドクター	日本内科学会 日本内分泌学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本東洋医学会 日本糖尿病学会 日本化学療法学会

早崎直行	消化器疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本医師会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 認定産業医	日本内科学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器病学会
中西孝之	消化器疾患 消化管領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化管学会 日本消化管学会 日本肝臓学会 日本門脈圧亢進症学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 東海支部評議員 胃腸科専門医 指導医 肝臓専門医 技術認定医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本消化管学会 日本門脈圧亢進症学会 日本胃癌学会
奥野充	胆膵疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本膵臓学会 日本胆道学会 日本超音波医学会 日本がん治療認定医機構	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 東海支部評議員 総会学術評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 東海支部評議員 総会学術評議員 肝臓専門医 指導医 指導医 超音波専門医 がん治療認定医 FJGES(Fellow of Japan Gastroenterological Endoscopy Society)	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会 日本超音波医学会 日本がん治療認定医機構 日本癌学会 日本臨床腫瘍学会
全秀嶺	消化器疾患			

【腎臓内科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
矢島隆宏	腎臓疾患・透析一般 内分泌 糖尿病	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本腎臓学会 日本腎臓学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本高血圧学会 日本高血圧学会 日本透析医学会 日本透析医学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 腎臓専門医 指導医 内分泌代謝科 (内科) 専門医 指導医 評議員 糖尿病専門医 指導医 専門医 指導医 透析専門医 指導医	日本内科学会 日本腎臓学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本高血圧学会 日本透析医学会

【呼吸器内科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
坂 英 雄	肺がんの化学療法 気管支鏡による 診断・治療 呼吸器インター ベンション	日本内科学会 日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本肺癌治療学会 日本がん治療認定医機構 Bronchoscopy International	認定内科医 総合内科専門医 呼吸器専門医 指導医 気管支鏡専門医 指導医 国際委員 前中部支部長 2016 年学術集会会長 がん薬物療法専門医 指導医 功労会員 特別会員 がん治療認定医 Master Instructor	日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本癌学会 日本臨床腫瘍学会 日本肺癌学会 日本癌治療学会 日本メディカル AI 学会 American Society of Clinical Oncology American Thoracic Society American College of Chest Physicians,Fellow Asian-Pacific Association for Bronchology and Interventional Pulmonology Asian-Pacific Society of Respirology European Respiratory Society International Association for the Study of Lung Cancer World Association for Bronchology and Interventional Pulmonology, Past-chair

【循環器内科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
森田則彦	循環器疾患 (心臓・大動脈・ 末梢血管)	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 循環器専門医 認定医 専門医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治 療学会

上野勝己	循環器疾患 (カテーテル治療)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 認定医 専門医	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈学会 日本救急医学会 日本糖尿病学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心臓リハビリテーション学会
香曾我部泰	不整脈	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会 日本心不全学会・日 本不整脈心電学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 不整脈専門医 植込み型除細動器／ ペーシングによる不 全治療研修証	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会
小島好修	心疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 浅大腿動脈ステント グラフト実施基準管 理委員会 日本心血管インター ベンション治療学会 日本心不全学会・日 本不整脈心電学会 厚生労働省 日本内科学会 日本救急医学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 浅大腿動脈ステント グラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis 認定医 植込み型除細動器／ ペーシングによる不 全治療研修証 日本 DMAT 隊員 JMECC インストラクター ICLS インストラクター	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本静脈学会

近藤 裕樹	冠動脈・末梢動脈のカテーテル治療 弁膜症	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 日本心不全学会・日本不整脈心電学会 日本経カテーテル心臓弁治療学会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本不整脈心電学会 日本不整脈心電学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 認定医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis 植込み型除細動器／ペースングによる不全治療研修証 カテーテル大動脈弁置換（TAVR）指導医 腹部ステントグラフト実施医 リードレスペースメーカー実施医 皮下植え込み型除細動器（S-ICD）実施医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本不整脈心電学会 日本経カテーテル心臓弁治療学会 日本高血圧学会
江崎 正泰	循環器疾患	日本内科学会 日本循環器学会 日本医師会	認定内科医 循環器専門医 認定産業医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心臓リハビリテーション学会

【血液・腫瘍内科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
鶴 見 寿	血液疾患 HIV 臨床腫瘍学	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本臨床内科医会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本消化器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定機構 日本エイズ学会 日本エイズ学会 日本造血・免疫細胞 療法学会 日本輸血・細胞治療学会 ICD 制度協議会 日本骨髄腫学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 評議員 臨床内科専門医 血液専門医 指導医 評議員 消化器内視鏡専門医 がん薬物療法専門医 指導医 協議員 がん治療認定医 認定医 認定指導医 認定医 東海支部評議員 認定 ICD 代議員	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本エイズ学会 日本造血・免疫細胞療法学会 米国血液学会 日本感染症学会 日本消化器内視鏡学会 日本骨髄腫学会 日本リンパ腫学会 日本輸血・細胞治療学会
原 武志	血液疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定医機構	認定内科医 総合内科専門医 指導医 東海支部評議員 血液専門医 指導医 東海地区評議員 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 米国血液学会
李 心	血液内科	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医 東海地区評議員 がん薬物療法専門医 認定 ICD	日本内科学会 日本血液学会 日本造血幹細胞移植学会 日本感染症学会 日本臨床腫瘍学会

藤田 慧	血液内科	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会
------	------	--	---	------------------------------

【小児科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
林 照恵	気管支喘息 アレルギー疾患 小児発達	日本小児科学会 日本小児科医会 日本小児科医会 日本小児科医会 子どものこころ専門 医機構 子どものこころ専門 医機構 日本アレルギー学会 日本公認心理士協会 日本雇用環境整備機構	小児科専門医 地域総合小児医療認定医 地域総合小児医療認 定医指導者 「子どもの心」相談医 子どものこころ専門医 子どものこころ指導医 アレルギー専門医(小児科) 公認心理士 雇用環境整備士(第Ⅱ種)	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児アレルギー学会 日本小児神経学会 日本小児精神神経学会 日本小児感染症学会 日本小児リウマチ学会
笠原由貴子	小児一般	日本小児科学会 日本小児科学会 子どものこころ専門 医機構 子どものこころ専門 医機構 日本小児精神神経学会	小児科専門医 出生前コンサルト小 児科医 子どものこころ専門医 指導医 認定医	日本小児科学会 日本小児神経学会 日本小児精神神経学会 日本人類遺伝学会
松澤依子	小児一般	日本小児科学会 日本小児科医会	小児科専門医 「子どもの心」相談医	日本小児科学会 日本小児神経学会 日本重症心身障害学会

【外科・消化器外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
松波英寿	大腸肛門科 領域全般 一般外科 移植外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本移植学会 細胞治療認定管理師 制度協議会 日本肝移植学会 日本臓器保存生物医学会 日本医師会 日本スポーツ協会 日本医師会	認定医 外科専門医 指導医 特別会員 認定医 移植認定医 細胞治療認定管理師 特別会員 評議員 認定産業医 公認スポーツドクター 認定健康スポーツ医	日本外科学会 日本医師会 日本臨床外科学会 The Transplantation Society The Transplantation Society of Australia and New Zealand The International Society for Artificial Organs 日本移植学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝移植学会 日本臓器保存生物医学会 日本外科系連合学会 日本癌治療学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会 東海外科学会 日本肝癌研究会 日本輸血細胞治療学会 日本内視鏡下肥満・糖尿病外科研究会 日本肥満学会 セルロース学会 日本公衆衛生学会 日本臨床検査医学会 日本肥満症治療学会 日本遠隔医療学会 日本早期認知症学会

木村 真樹	上部消化管内視鏡 ロボット支援手術 肝胆膵外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本がん治療認定医機構 日本食道学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療 認定医 がん治療認定医 食道科認定医 肝胆膵外科高度技能 指導医 評議員 ロボット支援膵体尾 部切除プロクター(機 種名:daVinci) 技術認定医(胃) ロボット支援手術認 定プロクター(消化 器・一般外科:胃) 評議員 専門医(国内B) da Vinci certificate(Console Surgeon)	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本胸部外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本食道学会 日本胃癌学会 日本内視鏡外科学会 日本臨床外科学会 日本腹部救急医学会 日本ロボット外科学会 日本肝臓内視鏡外科学会 日本膵臓内視鏡外科学会 関東腹腔鏡下胃切除研究会 日本肥満症治療学会
-------	-------------------------------	--	--	---

梶井航也	腹腔鏡手術・ロボット支援手術 (大腸) 甲状腺外科 ヘルニア 肛門外科	日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本がん治療認定医機構 日本乳がん検診精度 管理中央機構 日本内分泌外科学会 日本甲状腺学会 日本ロボット外科学会 日本乳腺甲状腺超音 波医学会 内痔核治療法研究会 日本医師会 日本医師会 厚生労働省 厚生労働省 日本ヘルニア学会 東海ヘルニア研究会	外科専門医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療 認定医 技術認定医（消化器・ 一般外科） ロボット支援手術認 定プロクター（消化 器・一般外科：大腸） 学会認定暫定プロク ター（ANSUR：腹腔 鏡下虫垂切除術） 評議員 大腸肛門病専門医 指導医 評議員 がん治療認定医 検診マンモグラフィ 読影認定医師 内分泌外科専門医（甲 状腺外科） 甲状腺専門医 専門医（国内 B） 甲状腺超音波ガイド 下穿刺診断専門医 硬化療法（ALTA）実 施資格 認定健康スポーツ医 認定産業医 麻酔科標榜医 日本 DMAT 隊員 鼠径部ヘルニア修得医 世話人 da Vinci certificate(Console Surgeon) ANSUR CERTIFICATE	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本腹部救急医学会 日本内分泌外科学会 日本ロボット外科学会 日本臨床外科学会 日本甲状腺学会 日本ヘルニア学会 日本乳腺甲状腺超音波医学会
------	---	---	---	--

東 敏 弥	消化器外科 肝胆膵外科 内視鏡外科	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本内視鏡外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 内痔核治療法研究会	外科専門医 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療 認定医 消化器病専門医 技術認定医（肝臓） 高度技能専門医 評議員 硬化療法（ALTA）実 施資格 da Vinci certificate(Console Surgeon) ANSUR CERTIFICATE	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本内視鏡外科学会 日本臨床外科学会 日本肝臓学会 日本膵臓学会 日本胆道学会 日本消化器病学会 日本癌学会 日本癌治療学会 日本外科系連合学会 日本乳癌学会 日本東洋医学会 日本サイエンス漢方処方研究会
村瀬佑介	外科一般	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本がん治療認定機構 内痔核治療法研究会	外科専門医 消化器外科専門医 がん治療認定医 硬化療法（ALTA）実 施資格	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本癌治療学会

【乳腺外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
森 美 樹	乳腺外科 消化器外科疾患	日本外科学会 日本外科学会 日本乳癌学会 日本乳癌学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本腹部救急医学会 日本医師会 日本乳がん検診精度 管理中央機構 日本乳がん検診精度 管理中央機構	外科専門医 指導医 乳腺認定医 専門医 消化器外科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 肝臓専門医 腹部救急認定医 認定産業医 検診マンモグラフィ ー読影認定医 乳腺超音波認定医	日本外科学会 日本乳癌学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本腹部救急医学会 日本臨床外科学会

【心臓血管外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
熊田佳孝	心臓・大腸脈の手術 末梢血行障害の治療 フットケア	日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管 外科専門医認定機構 日本心不全学会・日 本不整脈心電学会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 心臓血管外科専門医 植込み型除細動器／ ペーシングによる不 全治療研修証 胸部ステントグラ フト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラ フト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステントグラフト 実施医 Zenith AAA Endovascular Graft 腹部ステントグラフト 実施医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト 指導医 Gore Excluder Endprosthesis	日本外科学会 日本心臓血管外科学会 日本脈管学会 日本集中治療学会 日本フットケア学会

河合憲一	成人心臓血管外科手術 大動脈外科手術	日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 日本脈管学会 日本脈管学会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会	外科専門医 心臓血管外科専門医 脈管専門医 研修指導医 胸部ステントグラフト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラフト実施医 Zenith TX2TAA Endovascular Graft 胸部ステントグラフト実施医 VALIANT Captivia 胸部ステントグラフト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラフト指導医 Zenith TX2/ Alpha 腹部ステントグラフト実施医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト実施医 AFX ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会 日本血管外科学会 日本脈管学会 日本静脈学会
------	-----------------------	---	---	--

		日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラ フト実施基準管理委員会 血管内レーザー焼灼術 実施・管理委員会 下肢静脈瘤血管内焼灼 術実施・管理委員会 下肢静脈瘤血管内焼灼 術実施・管理委員会 下肢静脈瘤血管内焼灼 術実施・管理委員会 日本医師会	腹部ステントグラフ ト指導医 AFX ステン トグラフトシステム 浅大腿動脈ステント グラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis 下肢静脈瘤に対する 血管内レーザー焼灼 術の実施基準による 実施医 下肢静脈瘤に対する 血管内焼灼術の実施 基準による指導医 下肢静脈瘤に対する 血管内治療実施基準 による実施医 下肢静脈瘤に対する 血管内治療実施基準 による指導医 認定産業医	
--	--	--	---	--

【整形外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
福田 雅	整形外科一般 関節外科 肩関節外科 筋骨格系超音波診断	日本整形外科学会 日本整形外科学会 中部日本整形外科災害 外科学会 日本肩関節学会 東海スポーツ傷害研究会 東海関節鏡研究会	整形外科専門医 スポーツ医 評議員 リバーズ型人工肩関 節置換術施行資格 幹事 幹事	日本整形外科学会 日本肩関節学会 日本股関節学会 日本膝関節学会 日本スポーツ整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会 日本人工関節学会 日本骨折治療学会 日本足の外科学会 東海スポーツ傷害研究会 東海関節鏡研究会
日置 暁	整形外科一般 脊椎脊髄外科	日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本脊椎脊髄病学会	整形外科専門医 脊椎脊髄病医 脊椎脊髄外科専門医 指導医	日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本側彎症学会 日本脊椎インストゥルメンテーシ ョン学会 中部日本整形外科災害外科学会
山口良大	整形一般（整形 救急外傷、脊椎 外科）	日本整形外科学会	整形外科専門医	日本整形外科学会 日本救急医学会 日本骨折治療学会 日本脊椎脊髄病学会
日比野卓哉	整形一般 外傷	日本整形外科学会	整形外科専門医	日本整形外科学会 日本股関節学会 中部日本整形外科災害外科学会

【脳神経外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
澤田元史	脳卒中 脳動脈瘤 脳腫瘍 三叉神経痛、顔 面痙攣に対する 機能外科 脳血管内治療	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 指導医 脳卒中専門医 指導医 技術指導医 専門医 指導医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳卒中の外科学会 日本癌学会 米国癌学会（AACR） 日本脳神経外科コンgres

長谷川義仁	脳神経外科一般	日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本脳卒中学会 日本脊髄外科学会 日本脳神経外科漢方医学会
加納清充	脳神経外科一般 脳血管障害	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 指導医 脳卒中専門医 専門医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本脳神経血管内治療学会 日本神経内視鏡学会

【呼吸器外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
春日井敏夫	肺がん 縦隔腫瘍 胸腔鏡手術 ロボット手術	日本外科学会 日本外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 呼吸器外科専門医合 同委員会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構 日本緩和医療学会	外科専門医 指導医 認定医 呼吸器専門医 指導医 呼吸器外科専門医 気管支鏡専門医 指導医 がん治療認定医 認定医	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本肺癌学会 日本ロボット外科学会 日本緩和医療学会
丸 井 努	肺がん手術 気胸手術 胸腔鏡手術 低侵襲手術	日本外科学会 日本外科学会 呼吸器外科専門医合 同委員会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器外科学会 日本がん治療認定医機構	外科専門医 指導医 呼吸器外科専門医 評議員 胸腔鏡安全技術認定医 がん治療認定医	日本外科学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本内視鏡外科学会 日本胸部外科学会 日本肺癌学会 日本ロボット外科学会

【形成外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
北澤 健	形成外科全般 特に眼瞼手術、 マイクロサージャリーを応用した切断肢再接着や皮弁術による再建など	日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本手外科学会 日本手外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会	形成外科専門医 指導医 皮膚腫瘍外科分野指導医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 手外科専門医 指導医 乳房再建用エキスパンダーおよびインプラント責任医師	日本形成外科学会 日本手外科学会 日本マイクロサージャリー学会 国際形成外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会

【皮膚科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
浅野由祐子	皮膚科一般	日本皮膚科学会	皮膚科専門医	日本皮膚科学会 日本アレルギー学会

【泌尿器科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
石田健一郎	ロボット支援手術 腹腔鏡手術 内視鏡手術 前立腺疾患	日本泌尿器科学会 日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構 日本ロボット外科学会 ICD 制度協議会	泌尿器科専門医 指導医 泌尿器腹腔鏡技術認定医 代議員 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医師（膀胱・前立腺） がん治療認定医 Robo-Doc Pilot 認定 国内 A 級 認定 ICD	日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 日本化学療法学会 日本抗加齢医学会 日本ロボット外科学会 日本癌治療学会 日本腎臓リハビリテーション学会

【産婦人科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
松波和寿	周産期 不妊症 腫瘍 内分泌 腹腔鏡手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会 日本クリニカルパス学会 日本クリニカルパス学会 日本医療マネジメン ト学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 社会医学系専門医 社会医学系指導医 パス指導者 評議員 評議員 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本クリニカルパス学会 日本生殖医学会 日本医療マネジメント学会 日本内視鏡学会 日本受精着床学会 日本産婦人科内視鏡学会 日本産婦人科医会 日本内分泌学会 日本外科内視鏡学会 日本不妊学会
今井篤志	生殖内分泌 婦人科癌手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本婦人科腫瘍学会 日本生殖医学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 婦人科腫瘍専門医 婦人科腫瘍指導医 生殖医療専門医 内分泌代謝科（産婦 人科）専門医 内分泌代謝科指導医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本内分泌学会 日本生殖医学会
川 鱒 市 郎	周産期 画像診断 胎児診断治療	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本周産期新生児学会
高 木 博	産婦人科全般 腔式・腹腔鏡手術 骨盤臓器脱手術	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本女性骨盤底医学会 日本産婦人科手術学会 日本骨盤臓器脱手術学会
市 古 哲	産婦人科全般 婦人科がん手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会

【眼科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
末森晋典	網膜硝子体手術 抗 VEGF 薬治療 眼形成手術 白内障手術	日本眼科学会	眼科専門医	日本眼科学会 日本網膜硝子体学会 日本眼科手術学会

【耳鼻咽喉科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
永井裕之	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科学会 日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医 補聴器相談医	日本耳鼻咽喉科学会

【麻酔科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
江崎善保	麻酔全般 慢性疼痛のコントロール	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本周術期経食道心エコー認定委員会	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医 認定医	日本麻酔科学会 日本ペインクリニック学会 日本集中治療医学会
橋本慎介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本臨床麻酔学会 日本集中治療医学会
小島明子	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会
田中亜季	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 日本緩和医療学会
三上大介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本医師会	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医 認定産業医	日本麻酔科学会

【リハビリテーション科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
松波紀行	ペインクリニック 麻酔管理 リハビリ全般 肥満診療 スポーツ医学全般	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本専門医機構 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本慢性疼痛学会 日本輸血・細胞治療学会、日本造血細胞移植学会 日本自己血輸血学会、日本輸血・細胞治療学会 日本スポーツ協会 日本医師会 日本医師会	ペインクリニック専門医 麻酔科認定医 麻酔科専門医 指導医 麻酔科標榜医 慢性疼痛専門医 細胞治療認定管理師 学会認定・自己血輸血責任医師 公認スポーツドクター 認定健康スポーツ医 認定産業医	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本リハビリテーション医学会 日本肥満学会 日本輸血細胞治療学会

【メンタルケア科（精神科）】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
小島久典	精神科一般	日本精神神経学会 日本精神神経学会 厚生労働省	精神科専門医 精神科専門医制度指導医 精神保健指定医	日本精神神経学会

【救急総合診療科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
八十川雄図	心肺蘇生 脳卒中 災害医療	日本救急医学会 日本救急医学会 日本脳神経外科学会 厚生労働省 全日本病院協会 Japan Clinical Simulation Organization American Heart Association American Heart Association 日本母体救命システム 普及協議会 岐阜県危機管理部消防課 日本救急医学会中部 地方会	救急科専門医 ICLS・BLS コースデ ィレクター 脳神経外科専門医 統括 DMAT AMAT 隊員 ISLS 認定ディレクター ACLS リードインスト ラクター BLS リードインスト ラクター J-CIMELS ベーシック コース・インストラ クター 岐阜地域メディカル コントロール協議会 委員 (副委員長) 幹事 災害医療コーディネーター	日本救急医学会 日本脳神経外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本臨床救急医学会 日本災害医学会 日本集中治療医学会
山田法顕	救急 集中治療 病院前救護	日本救急医学会 日本救急医学会 日本救急医学会 日本集中治療医学会 日本高気圧潜水医学会 日本航空医療学会 日本救急医学会・日本 神経救急学会 American Heart Association	救急科専門医 指導医 ICLS インストラクター・ コースディレクター 集中治療専門医 高気圧医学専門医 認定指導者 ISLS コースコーデ ィネーター・ファシリ テータ ACLS リードインスト ラクター	日本救急医学会 日本集中治療学会 日本臨床救急医学会

【歯科口腔外科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
松 原 誠	口腔外科全般	日本口腔外科学会 日本口腔外科学会 日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本障害者歯科学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会 ICD 制度協議会	口腔外科認定医 専門医 指導医 口腔科認定医 指導医 有病者歯科医療認定医 専門医 認定医 障害者歯科専門医 指導医 細胞診専門歯科医 教育研修指導医 認定 ICD	日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 日本頭頸部癌学会 日本インプラント学会

【病理診断科】

医 師 名	専 門 分 野	取得資格 (学会名)	取得資格 (資格名等)	所 属 学 会
池田庸子	外科病理 人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 病理専門医研修指導医 細胞診専門医 教育研修指導医	日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床検査医学会 日本神経病理学会 日本癌学会 日本消化器内視鏡学会 日本乳癌学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本肺癌学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本脳腫瘍病理学会
川島啓佑	人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 分子病理専門医 細胞診専門医	日本病理学会 日本臨床細胞学会

【放射線診断科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
伊原 昇	画像下治療（インターベンショナルラジオロジー、IVR）	日本専門医機構 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本核医学会 厚生労働省	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 IVR 専門医 指導医 PET 核医学認定医 臨床研修指導医	日本医学放射線学会 日本核医学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本オートプシーイメージング学会
福田千春	画像診断全般	日本専門医機構 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 検診マンモグラフィー 読影認定医師	日本医学放射線学会
竹田太郎	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会	放射線科専門医 放射線診断専門医	日本医学放射線学会 北米放射線学会 The American Roentgen Ray Society 日本腹部放射線学会
高杉美絵子	画像診断全般	日本専門医機構 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 検診マンモグラフィー 読影認定医師	日本医学放射線学会

【放射線治療科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
林 昌秀	放射線治療全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本がん治療認定機構 厚生労働省	放射線科専門医 放射線治療専門医 研修指導者 がん治療認定医 臨床研修指導医	日本医学放射線学会 日本放射線腫瘍学会 日本癌治療学会 日本放射線外科学会

【回復期リハビリテーション病棟】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
野々村諭香	リハビリテーション科一般	日本リハビリテーション医学会 日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本医師会 日本医師会 日本専門医機構 日本専門医機構 日本パラスポーツ協会 日本スポーツ協会	認定医 スポーツ医 運動器リハビリテーション医 認定産業医 健康スポーツ医 リハビリテーション科専門医 整形外科専門医 公認パラスポーツ医 公認スポーツドクター	日本リハビリテーション医学会 日本整形外科学会 日本臨床栄養代謝学会
滝 英 明	脳卒中に対する回復期リハビリテーション	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会	脳神経外科専門医 脳卒中専門医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本リハビリテーション学会

【中央検査センター】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
岡垣篤彦	病院情報システム構築 病院情報の分析 災害情報の分析	日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	日本医療情報学会 ITヘルスケア学会 日本災害情報学会 日本災害医学会 日本産科婦人科学会 日本周産期・新生児医学会 日本ユーザーメード医療IT研究会

【まつなみ健康増進クリニック】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
花立史香	乳腺外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本乳癌学会 日本がん治療認定医機構 日本乳がん検診精度管理中央機構	認定医 外科専門医 指導医 乳腺専門医 がん治療認定医 検診マンモグラフィ一読影認定医	日本外科学会 日本臨床腫瘍学会 日本乳癌学会 センチネルリンパ節研究会

【人間ドック・健診センター】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
林 慎	内分泌・代謝学 (糖尿病・高脂血症)	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本医師会	認定内科医 指導医 専門医 研修指導医 評議員 病態栄養専門医 指導医 NST コーディネーター 評議員 人間ドック認定医 専門医 指導医 評議員 人間ドック健診情報 管理指導士 認定産業医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本総合健診医学会 日本肥満学会 日本内分泌学会 日本静脈経腸栄養学会

【介護老人保健施設】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
平山宏史	脳血管障害の リハビリテーション (脳卒中)	日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科学会 日本医師会	認定臨床医 脳神経外科専門医 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科コンgres
岩井知彦	脳卒中			日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会

2024 年度機器投資実績（主たるもの）

【機器一覧】

機器備品名：尿管ファイバーの更新（保守契約 1 年含む） URF-P7 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：N5W のセントラルモニタの更新 CNS-2101 製造業者名：日本光電工業株式 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：ELAN4 購入 製造業者名：ビー・ブラウンエースクラブ株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：顕微鏡システムの更新 製造業者名：ライカ マイクロシステムズ株式会社・ソニー株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：ANSUR サージカルユニットと卓上超音波洗浄機購入 製造業者名：朝日インテック株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：TPX コア 2 電動マイクロドリルシステム 製造業者名：日本ストライカー株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：ストレッチャースケール 4 台購入 AD6051B 製造業者名：株式会社エー・アンド・デイ 購入業者：井上精機株式会社
機器備品名：除細動器 DFM100 2 台 製造業者名：株式会社フィリップス 購入業者：フクダ電子株式会社
機器備品名：コンパクト浴槽の更新 CEL-730 9 月末納品予定 製造業者名：酒井医療株式会社 購入業者：平岩器械株式会社
機器備品名：臨床検査用分光光度計 7012 製造業者名：株式会社日立ハイテク 購入業者：株式会社スズケン
機器備品名：気管支ファイバービデオスコープの購入（リース） BF-MP290F 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：パルスホルミウムヤグレーザー（リース） PVMS00056 製造業者名：エダップテクノメド株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：PillCam レコーダ修理不能のため 2 台更新 製造業者名：富士フイルム株式会社 購入業者：株式会社スズケン

機器備品名：低侵襲心臓手術（MICS）に必要な器械（硬性小物）の購入 製造業者名：株式会社ユニメディック 他 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：令和 6 年度医療機能特化補助金 輸液× 15・シリンジ× 3・小型シリンジポンプ購入× 2（補助金） 製造業者名：テルモ株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：ベリメド ウォッシャーディスインフェクター（リース） 製造業者名：村中医療器株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：アーム型 X 線 CT 診断装置・DICOM 接続（リース） 製造業者名：朝日レントゲン工業株式会社 購入業者：株式会社中部メディカル・株式会社 J-MAC
機器備品名：低侵襲心臓手術（MICS）に必要な器械（硬性小物）の購入 製造業者名：株式会社ユニメディック 他 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：心電計（FCP-7541）を解析付心電計（カーディマックス FCP-9900Ai）へ更新 製造業者名：フクダ電子株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社
機器備品名：令和 6 年度へき地医療拠点補助金 IonicRF ジェネレータ・VenueR4・リフト式体重計・手術台（補助金） 製造業者名：アボットジャパン合同会社・GE ヘルスケアジャパン株式会社・ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社・エア・ウォーター東日本株式会社 購入業者：株式会社八神製作所・株式会社三輪器械・CTM 株式会社

松波総合病院
(SOUTH WING:南館) 介護老人保健施設

松波総合病院(NORTH WING:北館)



松波総合病院
(EAST WING:東館)
まつなみ健康増進クリニック

まつなみリサーチパーク 立体駐車場

■がん診療の拠点病院へ
松波総合病院（笠松町）は、厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けたと発表した。指定は1日付。がんに関わる医療機器を導入したり、がん治療を得意とする医師を招いたりすることができるようになる。

岐阜医療圏（岐阜、各務原など6市3町）での指定は、県総合医療センター、岐阜市民病院（いずれも岐阜市）に次ぎ3番目、県全体では8番目。松波総合病院の鶴見寿・がんセンター長は「地域のがん患者、家族の支えになっていきたい」としている。

朝日新聞 24.4.3



一般2部3位の
松波総合病院

柔道の第56回平和カップ広島大会は広島県のマエタハウジック東区SCで行われ、県勢は男子の一般2部で松波総合病院が3位に入った。

松波総合病院は1次リーグを勝ち上がり、決勝トーナメントに進出。初戦の2回戦で東海大B、準々決勝で山梨学院大Aに競り勝ったが、準決勝でその後優勝した明大に0-4で敗れた。

実業団や全日本学生体重別団体優勝大会の上位入賞チームなどが各部門に分かれ、男子一般2部には55チームがエントリーした。

松波総合病院 一般2部3位

平和カップ広島

柔道



岐阜新聞 24.4.10

コレステロール下げ、血圧を下げる、ストレスを軽減する。これらは健康増進の鍵となる。松波総合病院の循環器内科は、患者の生活習慣や年齢、体質などの違いを考慮し、最適な薬物療法を提案している。

循環器内科は、心臓や血管の病気の治療を行う。心臓病、高血圧、脂質異常症、糖尿病など、生活習慣病は、心臓や血管に負担をかけ、心臓病や脳卒中などのリスクを高める。松波総合病院の循環器内科は、患者の生活習慣や年齢、体質などの違いを考慮し、最適な薬物療法を提案している。



循環器内科
上野勝己氏



松波総合病院
循環器内科部長
上野勝己氏

循環器疾患

状態安定なら薬物治療で十分

イスキミア試験の長期観察結果（数字は％）

累積死亡率	心臓病		非心臓病	
	薬物療法	手術療法	薬物療法	手術療法
1年後	1.31	0.96	0.39	0.08
2年後	2.24	2.39	0.66	0.46
3年後	2.78	3.51	1.24	0.77
4年後	3.75	5.02	2.21	1.24
5年後	4.60	6.35	3.29	1.96
6年後	5.62	7.64	4.65	3.02
7年後	6.41	8.60	5.56	4.35

平均7.7年間の経過観察の結果、心臓病や非心臓病の累積死亡率は、薬物療法と手術療法を比較すると、心臓病では手術療法が優位であった。一方、非心臓病では薬物療法が優位であった。これは、心臓病では手術療法が、非心臓病では薬物療法が、それぞれ、心臓や血管の病気を治療するのに有効であることが示された。

松波総合病院の循環器内科は、患者の生活習慣や年齢、体質などの違いを考慮し、最適な薬物療法を提案している。また、手術療法が必要な患者も、手術後の経過観察や薬物療法を提案している。

循環器内科は、心臓や血管の病気の治療を行う。心臓病、高血圧、脂質異常症、糖尿病など、生活習慣病は、心臓や血管に負担をかけ、心臓病や脳卒中などのリスクを高める。松波総合病院の循環器内科は、患者の生活習慣や年齢、体質などの違いを考慮し、最適な薬物療法を提案している。

岐阜新聞 24.4.18

フランス柔道、憧れが原点

元国際柔道連盟理事 笠松で講演



フランスの柔道について講演するミッシェル・ブルース氏＝笠松町常盤町、笠松中央交流センター

フランスの柔道の競技人口が日本の3倍以上にまで増えた理由を解き明かす講演会「フランス柔道の秘密」が、笠松町常盤町の笠松中央交流センターで開かれた。

運営する社会医療法人蘇西厚生会が開き、柔道関係者ら約30人が参加した。ブルース氏と同病院柔道部員らによる練習会もあった。

(安井真由子)

元国際柔道連盟理事のミッシェル・ブルース氏は、フランスで柔道が普及した理由の一つに浮世絵の存在を挙げ「日本文化に対する憧れがあった」と解説。加えて1940年「柔」には武器の持ち歩きが禁止され、体の小さい上流階級を中心に護身術として柔道が広まったと説明した。

国家資格制度を作るなど「柔道家が職業として成り立つようにしたことも大きかった」と推察し、「フランスにおける柔道はもはや国技」と締めくくった。

講演会は松波総合病院を

地域医療連携法人に認定

美濃国リンケージ 医師不足に対応

地域医療連携推進法人
美濃国地域医療リンケージ設立



地域医療連携推進法人に認定された美濃国地域医療リンケージの関係者＝羽島郡笠松町田代、松波総合病院

自治体の枠を超えた医療体制の構築に向けて社会医療法人蘇西厚生会（羽島郡笠松町）と海津市医師会、美濃市が立ち上げた「美濃国地域医療リンケージ」が、今月、県から地域医療連携推進法人に認定された。少子高齢化や医師不足が進む

中、最速半日単位での医療スタッフ派遣など、自治体を超えて医療従事者不足に対応する。認定は県内2例目。

同連携推進法人は、医療機関の機能分担や業務連携を目的とする一般社団法人を、都道府県知事が認定する仕組み。3者は昨年11月、母体となる一般社団法人を設立していた。対象となるのは海津市医師会病院と美濃市立美濃病院、蘇西厚生会が運営する松波総合病院や同病院介護老人保健施設など。

認定により、これまで年単位で契約を結ぶなどしていた人事交流が、月単位、日単位で可能となる。基本的には医師の調子な松波総合病院から、海津、美濃両市への派遣を想定している。研修会を共同で開いて受講機会の拡大や効果向上を図ったり、医薬品や災害備品を共同購入し、3者の経営負担を減らす。

23日に松波総合病院（同町田代）で会見を開いた富田栄一代表理事は「自治体の枠ではなく、患者の動きに合わせて持続可能な医療を提供していきたい」とあいさつ。同病院の松波和寿病院長は4月から始まった医師の働き方改革に触れ「笠松町から各病院は30分の距離。柔軟な勤務体制が期待できる」と話した。

（安井真由子）

岐阜新聞 24.4.24

複数の医療機関が連携して医師の人手不足などの課題を解決しようと、美濃市と海津市医師会、社会医療法人蘇西厚生会（笠松町）は、一般社団法人「美濃国地域医療リンケージ」を設立した。県から「地域医療連携推進法人」の認定を受け、安定した医療の提供を目指す。（井上京佳）

美濃市×海津市医師会×蘇西厚生会

法人設立、派遣スムーズに

法人設立により、美濃市立美濃病院、海津市医師会、蘇西厚生会が運営する松波総合病院などが連携する。医師や看護士らの確保が難しい施設への派遣



医療機関の連携について抱負を語る（左から）蘇西厚生会の松波英寿理事長、富田代表理事、武藤弘美濃市長、富成伸海津市医師会長＝笠松町田代の松波総合病院で

地域医療連携推進法人は、業務の連携や機能分担によって質の高い地域医療を提供する一般社団法人に認定された。4月1日に認定を受けた「美濃国地域医療リンケージ」は都上市、高山市、白川村の「県北西部地域医療ネットワーク」に次いで、2例目となる。

厚生労働省の調査では、2022年の人口10万人あたりの医師数は全国で約262人。県内は約231人で都道府県別で38位だった。県内の医療機関に見ると岐阜市など岐阜医療圏は多いが、西濃や中濃では医師数が少ない。

広域連携で医師不足解消

実際、海津市医師会病院には常勤医師が3人しかいない。99床ある病棟は人手不足で60床しか稼働していない状況という。1222床の美濃病院も常勤医師が足りず、非常勤医師を招いて当直体制を維持する。一方で、501床を備える松波総合病院では常勤医師170人おり、余裕があるため、他の病院に医師を派遣することができると富田代表は話した。

中日新聞 24.5.1

コロナ感染後 精子に影響

数や量など全数値悪化



産婦人科医
今井真志氏



松波総合病院
産婦人科分科センター長
(羽島郡笠松町田代)

感染後数週間、精子の数は20%減少し、精子の濃度は25%減少しています。精子の数は37・5%、運動率は1%、生存精子率は5%減少しています。しかし、約半数の男性は、精子数が50%以上の回復した。この100日という数字は、精子が新たに作られ、射精されるまで3カ月ほどかかるために設定された期間です。精子の形態的な特徴についても、形が異常を示す精子が60%以上という高い割合で確認されたという報告もあります。

それは、どのようなメカニズムで精子の形成が抑えられているのでしょうか。以前から、新型コロナウイルス感染症と精子の形成の中に炎症を示すサイトカイ



ンが見つかっていました。また、新型コロナウイルス感染症でな

った方の結果を調べる、①精液に新型コロナウイルスが存在している、②精子の形成が抑制されている、③精子の形成が高まっている、④精子の形成が低下している、という4つの結果が得られました。つ

まり、新型コロナウイルス感染症を介して精子の形成が抑制されていることが示されました。

精液内の細胞が障害を受けるので、精子の形成が抑制されている、という結果が得られました。精子の形成が高まっている、という結果が得られました。精子の形成が低下している、という結果が得られました。精子の形成が抑制されている、という結果が得られました。

「能登、まだ人手不足」

松波病院職員 支援活動振り返る

高橋勇太さん(41)と宮崎久美子さん(49)が、厚生労働省などからの要請で、能登半島地震の避難所で、要介護高齢者の介助に当たった。活動から戻った2人は「避難所の外では日常生活を送られ、時間が止まっているようだった」と振り返った。



能登半島地震の避難所で介助に当たった高橋勇太さん(左)と宮崎久美子さん(右)。笠松町田代、松波総合病院介護老人保健施設

かわ総合スポーツセンターに2日間入った。同センターには高齢者がホテルや仮設住宅といった2次避難先に入るまで一時的にとどまっている「1・5次避難所」。2人は他自治体からの職員とグループになり、高齢者の食事や入浴の介助、健康チェックを行った。

2月にも同センターへ派遣された高橋さんによると、引き継ぎの書きが整うなど進捗がある一方で、まだまだ時間や人員が足りず、「十分なケアができないもどかしさがあった」という。「最低限のことをやり、今日を明日につなげる一心だった」と話した。

被災地での活動は初めてで「家族や家についてどこまで踏み込んで聞いているのか悩んだ」と宮崎さん。センター内では一般市民がいたり、観光客が歩いていたりと「避難所の中だけ異空間だった」と思い返した。

(安井真由子)

聴かせて

外国籍の救急救命士
カンカーニゲ・サチン さん 25



スリランカ国籍を持ち、外国籍の救急救命士として6月から松波総合病院（笠松町）で救急患者の対応にあたる。いつかはスリランカに救急医療をもたらしたいという思いを抱く。

同国出身の両親は岐阜大学に留学して来日し、岐阜市に定住した。そのため自身は同市で生まれ育った。父のラールさん（61）は、内戦が起きていた同国に日本で不用になった救急車、消防車を寄贈する活動で「ライオンクラブ」などを通じて1997年から行っている。活動は、日本で投棄された車いすや車を父が母国に持ち帰ったところ、希望者が続出したがきっかけ。これまでも少なとも1000台の車を贈った。あえて車体に「羽島消防救急隊」「二宮市消防本部」といった文字を施し、日本から贈られたことが現地にも伝わるようにしている。

スリランカに救急医療を

「正しく使ってもらいたい。救急医療で助かる命がある」との思いがこみ上った。日本に比べて手薄な救急医療をスリランカで発展させたいと思うようになった。

まずは自ら救急医療に携わろうと、高校生の時に救急救命士を志し、日本体育大学保健医療学部（横浜市）の救急医療学科に進学した。国家試験を受ける際は、外国籍の人が受けるのは難しいと聞かれ、今春、試験に合格。地域に寄りそう医療がしたいと松波

総合病院の面接を受け、採用が決まった。前段は難航した父も「日本で仕事ができる」と自他簡単な話ではない。快まって良かった」と祝福する。

同病院の救急医療センター長の八十川隆樹医師は「未住している人や観光客など、患者もグローバルになりつつある中、少しでも敷居を下げることでつながれば」と国際化を後押しする存在になることを望む。

今は、救急搬送された患者の状態の確認、院内での患者の搬送、入院時の患者への説明といった業務にあたっている。

「医療者で、誰とでもコミュニケーションをとってくれるムードメーカー。今後は点検などの領域の資格を取り、患者を診る力、知識を向上させて、救急救命士になってほしい」（八十川医師）と周囲の期待も高い。

「救急は一番最初に出る命を救う。高卒生の時に救急救命士を志し、日本体育大学保健医療学部（横浜市）の救急医療学科に進学した。国家試験を受ける際は、外国籍の人が受けるのは難しいと聞かれ、今春、試験に合格。地域に寄りそう医療がしたいと松波

読売新聞 24.7.22

子宮内の善玉菌

妊娠・出産の成否に影響



産婦人科医
今井篤志さん

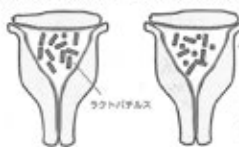


松波総合病院
産婦人科部長

私たちの体には腸内細菌の叢が存在し、その叢は腸内細菌叢と呼ばれ、免疫系の調節に深く関わっている。腸内細菌叢のバランスが崩れると、免疫系の調節がうまくいかなくなり、アレルギーや自己免疫疾患、がんなどのリスクが高まる。最近の研究では、腸内細菌叢のバランスが、妊娠・出産の成否にも影響を及ぼしていることが明らかになってきた。

子宮内には、乳酸菌などの善玉菌が存在し、これが子宮内の環境を整え、妊娠・出産の成否に影響を及ぼしている。子宮内の善玉菌のバランスが崩れると、免疫系の調節がうまくいかなくなり、アレルギーや自己免疫疾患、がんなどのリスクが高まる。最近の研究では、腸内細菌叢のバランスが、妊娠・出産の成否にも影響を及ぼしていることが明らかになってきた。

ラクトバチルスが90%以上 ラクトバチルスが90%未満



70.6% 妊娠率 33.3%
58.8% 産後出血リスク 6.7%

子宮内細菌叢の分布と、出産への影響（Moreno I.らの報告（2016）（2022）を簡略化）

ラクトバチルスは、子宮内の環境を整え、妊娠・出産の成否に影響を及ぼしている。ラクトバチルスのバランスが崩れると、免疫系の調節がうまくいかなくなり、アレルギーや自己免疫疾患、がんなどのリスクが高まる。最近の研究では、腸内細菌叢のバランスが、妊娠・出産の成否にも影響を及ぼしていることが明らかになってきた。

助手の役割に特化 手術支援ロボ

松波総合病院が導入 国内3例目



ANSURの操作を説明する木村部長（羽島郡笠原町）の松波総合病院で

松波総合病院（羽島郡笠原町）が、助手の役割に特化した手術支援ロボット「ANSUR（アンサー）」を導入した。国内3例目の導入となる。このロボットは、手術室内で初めて導入した。8月下旬以降、実際に手術で使う予定。これまで3人の消化器外科医が必要だった手術を1人で済ませることができるようになる。

ANSURの導入は、国立がん研究センター東病院（千葉市）や、名古屋市立大病院（名古屋市中区）に次いで国内3例目。担当医や患者からの期待が非常に高い。これまでに2例以上の実績がある。

通常の手術では、執刀医のほかに縫合を補助する医師が必要で、そのほか、麻酔科や内科の医師が加わり、1人では対応できない手術もある。2018年には10人になった。

7月の年中の手術稼働率は95%。外来診療のためには医師がそろって、手術ができていないという。手術が完了してからも、消化器外科医が2人、外科と消化器外科の木村部長は「効率的な手術が実現できる」と期待している。

（菅田 浩）

中日新聞 24.8.13

腹腔鏡手術支援ロボ導入

松波総合病院 医師の省力化へ



手術支援ロボット「ANSUR」を助手代わりにした手術を再現する木村部長（羽島郡笠原町）の松波総合病院

松波総合病院（羽島郡笠原町）は、従来より少ない医師で腹腔鏡手術を行える支援ロボット「ANSUR（アンサー）」を導入した。これまでに3人の医師が必要だった腹腔鏡手術が、1人で可能になる。長時間労働などから、院内の外科医が減少している中、木村部長は「手術の省力化を推進していきたい」と期待している。

（菅田 浩）

ANSURは国立がん研究センター東病院などが導入し、2018年に導入された。木村部長は「これまで2人の助手が必要だった手術が、1人で可能になった」と話す。木村部長は「これまで2人の助手が必要だった手術が、1人で可能になった」と話す。

木村部長は「これまで2人の助手が必要だった手術が、1人で可能になった」と話す。

岐阜新聞 24.8.13

柔道と医療両立、県代表に

松波総合病院の福井選手

国スポ東海大会へ稽古



福井選手は松波総合病院の福井選手。羽島郡笠原町、笠原町中央総合センター

松波総合病院（羽島郡笠原町）の柔道部は、国スポ東海大会へ稽古する。福井選手は「勝利へ全力を尽くす」と意気込んでいる。

福井選手は、松波総合病院の柔道部で活躍している。彼女は、松波総合病院の柔道部で活躍している。彼女は、松波総合病院の柔道部で活躍している。

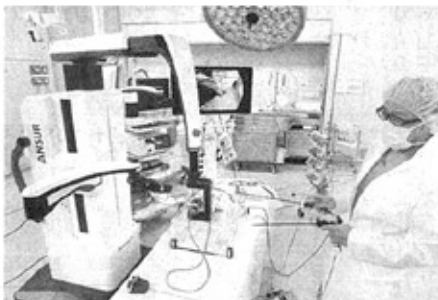
福井選手は、松波総合病院の柔道部で活躍している。彼女は、松波総合病院の柔道部で活躍している。

福井選手は、松波総合病院の柔道部で活躍している。彼女は、松波総合病院の柔道部で活躍している。

岐阜新聞 24.8.16



最新手術助手ロボット導入 笠松の病院



手術支援ロボット「ANSUR」の操作方法を説明する医師（松波総合病院で）

最新鋭の手術支援ロボット「ANSUR（アンサー）」が、笠松町の松波総合病院に県内で初めて導入された。手術の際の助手に特化したロボットで、外科医が1人で腹腔鏡などの手術を行うことが可能になる。

ANSURは国産で、導入は国内3例目。鉗子を操作するアーム2本とカメラアームがあり、医師は鉗子2本を両手で操作しながら

ら、ロボットに指示を出して助手の役割をさせる。

国内の病院に導入が進む「ダビンチ」などの手術支援ロボットは、ロボットを操作する外科医のほか、助手の役割をする医師が1〜2人必要だった。

同病院では、手術件数が増加傾向にあるが、医師は診察などの対応があるため、複数の医師が集まってダビンチを操作できる時間には限られ、手術の効率化に課題があった。ANSURの導入により、手術室の空いた時間に、医師1人で手術ができるようになる。

県などのデータによると、県内の外科医は1998年の351人から2022年は210人に減少している。

松波英寿理事長は、「外科医不足と働き方改革の答えとなる、将来の日本の医療を助けるロボット」と期待を込めた。

読売新聞 24.8.29

きふで KO SO!

託児所運営、職員に好評

松波総合病院（笠松町）

医療現場での人手不足が課題となる中、職員の子どもを受け入れる院内保育を導入する病院が増えている。厚生労働省によると、県内では2020年の時点で全体の約3分の2、64病院で実施。中でもいち早く自前の託児所を運営してきた松波総合病院（笠松町）では、夜間保育や小児科との連携など、充実した制度で職員からも好評だ。

「職場のすぐ近くなので、安心感がある」。9カ月ほど前から、病院から徒歩1分の託児所「エンゼル」に長男（1）を預けている小児科の看護師、高橋少貴さん（35）はこう話す。多いときで土日を合わせて週に5回利用している。

高橋さんが特に安心するというのが、長男が体調を崩したときの託児所の対応。高橋さんに直接連絡が入り、院内

の小児科でもすぐに診察してもらえる。

長男は発熱すると体がけいれんを起こすことがあるといい、多いときは月に2回、症状が出ることも。だが一般的な保育園と違い、その度に仕事を途中で抜け出す必要がない。自身が小児科勤務のため、一緒に働く医師に診てもらえることも安心材料だ。



「そだてる はたらく」

「エンゼル」は現在、看護師を中心に50人近くの職員が利用。通院時は来年度半ばを対象に平日の日中のみ対応するが、勤務状況などに応じて土日や夜間にも受け入れる。小学生の子どもも預けられるといい、多いときには一晩で3人ほど利用するという。

病院の採用担当の後藤理子さんによると、託児所がある

ことを理由に転職する職員もいるといい、人材確保にもつながっている。冒頭の高橋さんも、結婚を機に県外の病院から転職。託児所があることが決め手となった。後藤さんは「病院全体で、子育てとの両立を応援する風土ができています。最近では男性職員の育児の取組率も大きく伸びている」と話す。

松波総合病院 社会医療法人慈西厚生会が運営。職員数はパート職員も含め144人。2016年度にワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定を受けた。

応じて出勤する保育士の数を調整している他、夜勤対応後、2日間を休みとするなどしている。



夜間など受け入れ柔軟 小児科との連携も

就労相談 松波総合病院でも

長期療養者向けにハローワーク岐阜ががんや糖尿病などの病気で、長期の治療を受けている患者向けの就労相談会が13日、笠松町田代の松波総合病院で開かれた。

ハローワーク岐阜の相談員が、ブリスを訪れた患者に病状やどんな仕事を希望しているかなどを尋ねた。がんを患っている50代男性

は、体への負担が小さい短時間の仕事を希望。相談員はパートの求人案内したほか、就職先の幅が広がるとして障害者向けの窓口も案内していた。

岐阜労働局が2016年度から始めた取り組みで、これまで県内の8病院で相談会を定期的に開いている。松波総合病院は今回が初めてで、今後は毎月第2金曜日に開催し、他の病院で治療中の患者の相談も受け付ける。午前10時〜午後2時半。

労働局によると、がんや糖尿病の治療をしながら就職を決めたケースは昨年度、県内のハローワークで計156件あった。

（尾林太郎）



患者の相談に耳を傾ける相談員、笠松町田代の松波総合病院で

中日新聞 24.9.4

中日新聞 24.9.18

音楽は最高の薬 ロビーで演奏会

笠松・松波総合病院

病院の利用者や地域住民に音楽を届けようと、笠松町田代の松波総合病院で25日、ロビーコンサートがあ



った。コロナ禍による中止を経て、5年ぶりの開催。バイオリン奏者やソプラノ歌手の共演に、約50人が癒やされた。

安藤風季さんが歌い、バイオリンは波多野有紀さん、ピアノは都築れなさんがそれぞれ演奏。クララザールじゅうろく音楽堂（岐阜市）元支配人の清水富士夫さんもバリトンで参加した。エルガーの「愛の挨拶」やプッチーニの「私の優しいお父さん」など10曲を披露した。

病院の利用者を楽しませたロビーコンサート＝笠松町田代の松波総合病院で

中日新聞 24.9.27

癒やしの音色 5年ぶり



患者や医療従事者を癒やしたロビーコンサート
＝笠松町田代、松波総合病院

松波総合病院でロビーコンサート

笠松町田代の松波総合病院で、コロナ禍を経て5年ぶりにロビーコンサートが開かれ、爽やかな音色と歌声が患者らを癒やした。クララザールじゅうろく音楽堂（岐阜市）の元支配人、清水富士夫さんら4人

が出演。ピアノとバイオリンに合わせて歌い、映画「マイ・フェア・レディ」から「踊り明かそう」や、「アラジン」の「ホール・ニュー・ワールド」など9曲を披露した。

（安井真由子）

岐阜新聞 24.9.28



大田市の薬を最終確認する長谷川裕矢さん（いずれも岐阜県立総合医療センター）

お仕事ファイル

by 中学生記者

病院薬剤師

＜目指すには＞ 薬学部の大学で6年間学び、薬剤師の国家試験に合格して免許を取った上で、病院に就職します。がんや感染症などの病気に対する専門の業務もあり、「就職してからが本当の勉強」と長谷川さん。多くの患者や医療スタッフを助けるため、「人と関わるのが好きな人に向いている」といいます。



1日分の薬を調剤する「分発庫」＝二宮南栄診療所 ②薬剤師の薬を保管する「分発庫」



安全確保 細心の注意

「一人一人の患者さんに合わせた薬を処方する」というのが、薬剤師の仕事です。患者さんの病状や年齢、アレルギーの有無など、細心の注意を払って薬を処方します。また、薬の副作用や相互作用についても、患者さんに説明します。薬剤師は、患者さんの健康を守るために、細心の注意を払って仕事をしています。



薬が保管されている「分発庫」で長谷川さん（左）の話を聞く中学生記者さん（右）

患者回復へ寄り添う

病気やけがをした人への薬について幅広い知識を持つ薬剤師。中でも病院薬剤師は、医師や看護師など多くのスタッフと連携して、患者にとって最適な治療法を提案し、薬の効果を高めるよう努めます。中学生記者が岐阜県立総合医療センターを訪れ、薬剤師の長谷川裕矢さん（44）に取材。「薬の専門家」として、安全に薬を付けながら患者に向き合う仕事の魅力や大変さを知りました。

心臓や腎臓の病にかかったり、内臓の大きな手術を受けた後、薬の副作用で吐き気や下痢が起きたりした患者に対する薬の調整（ICU）。長谷川さんはICUに入る前に、患者の病状を確認して薬の量を調整し、患者の回復を助けます。また、ICUのスタッフと協力して、患者の薬の管理を行います。長谷川さんは、患者の回復を助けるために、細心の注意を払って仕事をしています。

名古屋市中区・岡田地区（3年） 薬を調剤するよりも、患者さんと向き合う時間が長いと聞いて驚きました。が、「電子カルテにはない情報が得られる」と聞いて納得しました。

岐阜県岐阜市・小川南栄診療所（3年） 担当するすべての患者さんのところに毎週行くのは大変そう。やりがいを感じ、薬剤師の仕事への興味が増えました。

岐阜県岐阜市・伊藤診療所（2年） 1つ1つで働く薬剤師さんたちの姿に感動し、「患者さんの笑顔が見たい」との思いが湧きあがった。よい印象を受けました。

岐阜県岐阜市・森田社（1年） 患者さんと医師の先生ともよく話していると感じ、病院薬剤師の仕事は、人と薬をつなぐ役割に欠かせないものだと思いました。

発明22件に計375万円

小野木科技振興財団が助成



小野木孝二理事長（左）から助成金を受け取る受賞者＝岐阜市正木中、マーサ21

小野木科技振興財団（小野木孝二理事長）は15日、県内の優れた発明者への助成金の贈呈式を岐阜市内で開き、22件に計375万円を贈った。同財団は1985年に設立され、科学技術の振興と地域産業の発展を目的に86年から毎年、幅広い分野での発明者への助成活動を行っている。今年は一役と高齢者対策の発明を対象としたシルバーの2部門に計22件の応募があった。

一般の最優秀賞は日新蜂（安八郡安八町）の岸野逸人社長、渡邊重臣氏、澤山哲平氏が、蜂蜜を泡状にした冷凍クリームにまつわる「ホイップドクリームの製造方法及びホイップドクリーム」が選ばれた。シルバーの最優秀賞はアビ（岐阜市）の伊藤健司氏、佐藤将之氏、徳永勝彦氏の「カプセル化膜組成物及びカプセル」が受賞した。

（一）▽1位 宇野誠（中洲電機）▽2位 浅野実、齋藤俊彦（機材）▽3位 坂東雄（社会福祉法人緑西厚生会）坂東武志、長瀬孝幸、井村源介、川下智幸、坂口彰浩（ナガセインテックス）▽優秀賞 古田博也（Aエプック）木村浩大（一馬製菓）辛車貴石（伊藤）▽奨励賞 伊藤友太郎（伊藤）▽努力賞 吉田浩司、中村昌孝（エヌテック）清水義弘（イビコン）長沼有亮（東海化成）高田崇之（内田）▽育成賞 古川和久（マナブ）秋田利典、古川和久（マナブ）▽イベックス（中野）松本好司（イベックス）中野政貴（中野）水原隆久、中野翔太（オク製作所）山内杉光（シルバー）▽優秀賞 奥田さゆり（奥田）▽努力賞 青野豊、今道太（ユタ電子製作所）

僧帽井閉鎖不全症

左心室拡大、血液が逆流

教えて
平井さん

循環器内科医
上野勝己さん



松波英寿理事長
（松波総合病院）

心臓は、全身の隅々まで血液を送り出すポンプとして働いている。左心室は、全身に血液を送り出すためのポンプで、右心室よりも大きく、強い力で血液を送り出す。左心室の壁は、心筋と呼ばれる筋肉でできており、収縮して血液を送り出す。左心室の出口には、僧帽弁と呼ばれる弁があり、血液が逆流しないようにしている。僧帽弁が正常に機能すると、血液は左心室から大動脈へと送り出される。しかし、僧帽弁が閉鎖不全になると、血液が逆流し、左心室が拡大する。左心室が拡大すると、血液が逆流し、左心房に逆流する。左心房が拡大すると、肺動脈に逆流し、肺高血圧になる。肺高血圧になると、右心室が拡大し、右心室不全になる。右心室不全になると、全身に血液を送り出す能力が低下し、全身の臓器に血液が送られなくなる。僧帽弁閉鎖不全症は、高齢者に多い病気である。僧帽弁の老化や変形によって、僧帽弁が正常に機能しなくなる。僧帽弁閉鎖不全症の症状は、息苦しさ、胸の痛み、めまい、失神などがある。僧帽弁閉鎖不全症の治療法は、薬物療法と手術療法がある。薬物療法は、症状を軽減するための治療法である。手術療法は、僧帽弁を交換する手術である。僧帽弁閉鎖不全症の予防法は、高血圧をコントロールすることである。高血圧は、僧帽弁の老化や変形の原因となる。高血圧をコントロールすることで、僧帽弁閉鎖不全症の予防が可能である。

岐阜新聞 24.10.17

地域医療連携 重要性を確認



地域医療連携推進法人の
意義を述べる青山竜文氏
＝笠松町常盤町、中央交
流センター＝

美濃国リネージュ記念 笠松町で講演会

圏域をまたいで医療体制を築く、社会医療法人蘇西厚生会（笠松町）と海津市医師会、美濃市による「美濃国地域医療リネージュ」の設立を記念した講演会が、同町常盤町の中央交流センターであり、出席者が医療、介護分野における連携の重要性を確かめた。

機能分担や業務連携などを目的に、3者が昨年11月に母体となる一般社団法人を立ち上げ、今年4月、県から地域医療連携推進法人として認定を受けた。会では日本政策投資銀行上席主任研究員の青山竜文氏が講師を務め、医療機関や自治体などからオンラインを含め約80人が参加した。

全国的傾向を踏まえながら、医師の増減や施設介護の利用者数など3市町の動向を統計を基に説明した上で、「（3市町は）距離を離れているが強化すべき点が分散し、相互補完的に連携の効果が発揮できる」とし、地域医療連携推進法人の意義を強調した。

また、県の特徴として、県土の広さもある人口当たりで見ると施設や機器といった固定資産が充実してはいないものの「固定資産の回転率の高さから、医師らの繁忙度が高い地域と言える」と指摘。「DX化によって効率化を図る必要性が高いエリア」と述べた。

（山田俊介）

岐阜新聞 24.10.17



患者の心癒やす演奏 笠松・松波総合病院

患者らに生演奏で癒やされてもらおうと、笠松町の松波総合病院で5年ぶりにロビーコンサートが開かれた。2019年まで不定期で開催していたが、コロナ禍の影響で中止していた。ピアノやバイオリンの演奏に歌声を合わせ、「ホール・ニュー・ワールド」など10曲が披露された。近くの野田隆弘さん(77)は「すばらしかった。ライブはテレビとは違う」と喜んでいた。企画した同病院の松波英寿理事長は「病院に通うことはストレスになるが、一時だけでも気持ちよくなってほしい。真剣な演奏を聴いて、『私も頑張ろう』と思ってもらえれば」と話した。

読売新聞 24.10.23

大規模な地震想定 仮設トイレを設置

松波総合病院で訓練
笠松町田代の松波総合病院で大規模な地震を想定した訓練が開かれた。断水が



大規模災害を想定し、仮設トイレを組み立てる職員。笠松町田代、松波総合病院

被災地に派遣された同病院医師らからの「トイレが不衛生で、ノロウイルスなどの二次感染があった」「トイレに行かないために飲食を控える、脱水症状を訴えるケースもあった」との意見をを受けて実施した。マグニチュード9の地震が発生し、上下水道の断水を想定。災害対策本部を設置した後、仮設トイレを組み立て、使用しないトイレの封鎖を行った。

（安井真由子）

岐阜新聞 24.11.6

望まない妊娠を避ける

教えて
ホームドクター

産婦人科医
今井篤志さん

松波総合病院
腫瘍内分泌センター長
（羽島郡笠松町田代）

2022年10月に、厚生労働省から22年度の人工妊娠中絶件数が出件数として公表された。その中で、妊娠が判明した場合の中絶を希望する割合は13・7%ですが、年齢別にみると15歳以下が84・5%、15・19歳は67・5%、20～24歳は36・6%、45・49歳は41・1%、50・54歳は20・2%、55歳以上は10・1%と、年齢層が高くなるほど割合を示しました。人工妊娠中絶の数は若年者減少傾向にあるものの、将来的な影響が大きく、改めて避妊法を考えてみましょう。

普通、膣内は血の中に入っています。膣液中にある精子は子宮や卵管を自力で泳ぎ上って、卵管の先端に達します。そして、卵巣からタイミングよく排出された卵細胞と精子が会合し、受精卵といわれます。受精卵は多細胞を構成するが、卵細胞分裂を繰り返しながら卵の運動によって、子宮内に運ばれ着床するのです。これを床といひ、妊娠の成立です。この一連のすべのステップが正常であれば妊娠しませんが、逆にそれかきステップを阻害する避妊法があります。

膣が膣内に入らないように対応するのがコンドームです。コンドームはゴムやシリコンで手製に購入できる最も一般的な避妊方法です。しかし、避妊法を練習していても、妊娠することがあります。その理由の大半は滑り落ちたコンドームのせいからです。コンドームは男性のめめから終わりまで装着する」とが

代表的な避妊方法の妊娠数（※パール指数）

避妊方法	正しい使用での妊婦数/年/100人	一般的な使用での妊婦数/年/100人
コンドーム	2	15
経口避妊薬(ピル)	0.3	7
黄体ホルモン放出子宮内避妊システム(ミレナ)	0.1	0.1
銅付加子宮内避妊具	0.6	0.8
避妊せず(参考値)	85	

Hatcher R.A.5(2004)の報告を図表化
 当季の方法を用いて避妊を行った100人の女性が1年間に妊娠する件数

「安全な」ものがない限り、避妊に「正しく使用」するという必要はない場合がある。コンドームを使うための「一般的な使用法」です（一読）。

性行為の中心にコンドームが体内で外れてしまえば避妊に失敗し、また万が一の場合もありません。コンドームを袋から取り出す場合も爪で傷つけないように注意してください。

避妊をせず、生殖年齢の女性が1年間性交渉を続けるとして、0人の子供が誕生すると推定されます。望まない妊娠を避けるためには、パートナーと共に正しい避妊方法を時時に正しく理解することが大切です。

重要です。避妊の失敗の代表例は射精の寸前、つまり性行為の途中でコンドームを装着したことです。精液は射精時だけでなく、性行為中の分泌

用期限をすらなかつた(コンドームは極めて薄い)ゴム製であるため、期限切れや保管方法によってはゴムに劣化が生じる)などにも注意すべき点で、とりわけ、以下の点に注意しなくてはならない。

液に薄めてくるか、また、**⑦**効起する阻害物質を、**⑧**コドーム錠剤で先端の精液生りを撃つ→つまり、空交を抜かなければ、コドームを挿入できなかったり下ろさなかったり射撃後すぐにコドームを抜かなかつて、使

いながら注意を払つてお

要する。

コドームの避妊効果は100%ではありません。その他の避妊方法として経口避妊薬や子宮内に挿入する着け薬、また、コンドームに頼れるという方法があ

医療の改善活動、共有

岐阜市で全国大会

「医療の改善活動」全国大会 in 岐阜が、岐阜市橋

どが取り組みを報告し、ノ
ウハウを共有した。

病院スタッフが取り組みを報告した医療の改善活動全国大会＝岐阜市橋本町、じゅうろくプラザ



回復期病棟での患者の床
擦れをなくすためにスタッ
フ全員で行った対策や、食

事を安全に自己摂取できる
ようにするためのマニュアル
作成、資機材の準備を均
一化して誰もが同じ準備を
行えるようにすることです。

地域医療貢献たたえる

県医師会が大会 医師や看護師表彰



県医師会の設立記念大会であ
いさつする伊在井みどり会長
岐阜市数田南、県医師会館

県医師会館で開き、長年に
わたり地域医療や会の発展
に貢献した医師や看護師ら
を表彰した。

大会は2012年から毎
年開催。県医師会は老朽化
に伴い今夏に会館を新築移
転しており、移転後初の大会となった。

伊在井会長はあいさつ
で、少子高齢化や医師不足、
自然災害など山積する課題

岐阜新聞 24.12.1

を挙げ「地域医療の役割は
ますます重要になってい
る」と会員らに協力を求め
た。

会場では本年度の叙勲受
賞者や日本医師会最高優功
賞の河合直樹さんのほか、
県医師会最高優功賞の田中
吉政さん、松波英寿さん、
矢嶋茂裕さん、西脇慶治さ

んの4人を表彰した。その
ほか、日本医師会の宮川政
昭常任理事が「医業承継に
ついて」と題して講演した。

体内の水分が失われることで起こる脱水症状。気温が
上がる夏に起こりやすいと思われがちだが、実は冬でも
注意が必要だ。特に小さい子どもの場合は感染症の流行で
体調を崩しやすく、嘔吐や下痢で簡単に水分不足の状態
になることも。本格的な寒さを迎えた今、対策を講じて
おきたい。

(尾林太郎)

少量を小まめに补水

松陵総合病院(笠松町)の
笠原由典小児科部長によると、
そもそも子どもは体質上、
大人よりも脱水症状を起こし
やすい。子どもの体には含ま
れる水分量は全体の70〜80
％で、このうち半分ほどが血
液などの細胞外液。体に占め
る割合としては成人の前で、
「体内から抜けやすい水分が
多く含まれている状態」だ。
特に冬は、夏と同様に脱水

症状の発症リスクが高まると
される。インフルエンザや胃
腸炎に感染すると、食欲低下
でエネルギー不足になりやす
い。小さい子どもの場合は胃腸
が小さいため、嘔吐した時に
大量の水分を失うリスクもある。

あぶない!

なったり、体がぐにゃぐにゃ
たりして、重症化する恐れが
ある。笠原さんは「こまめ
に、少しずつ水分を取ること
が欠かせない」と訴えるが、
いくつかわずかあるという。

まず用意するのは、経口補
水液。適度な糖分と塩分が含
まれているため、水分が体内
に吸収されやすい。市販のも
のでも良いが、看病で買いに
行く時間が無い時は、1 Liter
の水に砂糖40g、塩3gを混ぜ

脱水症状を防ぐ ためのポイント

- 経口補水液を
用意する
- 一回で飲む量は
スプーン1杯分
- 5〜10分おきに
飲む



てつづけることもできる。薄め
たみそ汁やりんごジュースな
どでも代用できるが、スポー
ツドリンクは糖分が多いため
避けた。

飲みすぎで吐いてしまうの
を防ぐため、一回で飲む量は
スプーン1杯分、間隔は5
〜10分おきがいい。「病院の
点滴と同じくらいいいペース」
という。それでも吐いてしま
う場合は、かかりつけの医

病院に行くべき サイン

- 水を飲んでも
吐いてしまう
- 唇がかわつく
- 尿が出ない
- おしっこ
の回数が減る

機関を受診する。唇がかわつ
ている時や尿が出ない場合
など、初期の脱水症状が認め
られた場合も、医師に診てら
うてほしいという。

子どもがインフルなどにか
かると、家族じゅうに広がり
がちだ。笠原さんは、「病院
に連れて行く前にもこまめな
手洗いやうがいをしてほし
い。徹夜してしまう人もい
るが、無理のないように看病し
てほしい」と呼びかける。

寄せください。手紙やはがきは〒500
8875 岐阜市柳ヶ瀬1の12、中日新
聞岐阜支社報道部「あぶない!」係ま
で。ファクス=058(262)6706、メール
=gifu@chunichi.co.jpでも受け
付けます。氏名や住所、連絡先を明記
してください。

不審者情報

●児童への付きまとい
3日午後2時30分ごろ、岐
山市高田町の路上で、男が
下校中の女子児童の後ろを
ついてた。男は20〜30歳く
らいで中肉。黒色のジャン
パー、ズボンに黒いマスク
を着用。
●児童にカメラ向け
3日午前7時30分ごろ、新
田町小高田の路上で、男が
登校中の児童の肩に手を
添え、カメラを向け、男は
40〜50歳くらいで黒色短
髪。白シャツを着ていた。
●女が犬を飼っている
11月20日午後3時半ごろ、可
児市下野の路上で、車に乗
った女が下校中の男子児童
にスマートフォンを向け
た。女は20〜30歳くらい
で、黒髪ロングヘア。黒色
のニット帽で、黒色の上衣
を着用。白色系のコンパ
クトカメラを持っていた。

中日新聞 24.12.10

大規模災害時の 「医療連携重要」

笠松町で講演会

国立病院機構本部DMA
T事務局の小井土雄一局長
が笠松町常盤町の笠松中央
交流センターで講演し、能
登半島地震での災害対応を
踏まえた医療、保険、介護
連携の重要性を語った。
小井土局長によると、能

登半島地震では全国から過
去最大、最多となる113
9の災害派遣医療チーム



災害時医療の連携について講演
する小井土雄一局長（笠松町常
盤町、笠松中央交流センター）

（DMA）が派遣された。
高齢化が進んで医療ニーズ
が多様化したことで「守備
範囲が広がっている」と指
摘。「在宅医療などの専門
家を本部に加え、指示して
もらうべき」と助言した。
講演は濃尾地域包括ケア
研究会と松波総合病院が開
き、医療、消防関係者ら約
60人が参加した。

（安井真由子）

岐阜新聞 24.12.14

スリランカ国籍の サチンさんと交流

岐阜総合学園高

高校生が海外の人たちと
交流し、異文化への関心を
深める会が13日、岐阜市須
賀の岐阜総合学園高校であ
り、スリランカ国籍の救急
救命士、カンカーニゲ・サ
チンさん（岐阜市）が登場
した。約15人の生徒を前
に、母国と日本のつながり
や自身の経験について語っ
た。

サチンさんは日本に移住
した両親のもとに生まれ育

母国スリランカについて紹
介するサチンさん（岐阜市
須賀の岐阜総合学園高で



った。今年6月から、松波
総合病院（笠松町）の救急
科に勤めている。

交流会では、父が日本で
使われなくなった救急車や
消防車を母国に贈る活動を
してきたことを紹介。「日

本人は車をきれいに使って
いるから、今もスリランカ
で大活躍している」と、現
地の人たちが日本に親しみ
を感じていると話した。

中学3年生の時に、初め
ての海外一人旅でマレーシ
アを訪れた時のエピソード
も披露。つたない英語を使
いながら、タクシー運転手
に何とか目的地に連れて行
ってもらえた話をし、「失
敗してもいいから、何事も
チャレンジすることが大
事」と積極的に海外で挑戦
することの大切さを訴え
た。

（尾林太郎）

中日新聞 24.12.16

心温まるコンサート

Xマスソングで
患者らを癒やす

松波総合病院

笠松町田代の松波総合病院で25日、クリスマスコンサートがあり、患者や家族らが心温まるひとときを過

ごした。

ドイツ・ドレスデンを拠点に世界中で活躍するピアニストの向田成人さん、バイオリンの松田彩さん、夫妻が共演。「きよしこの



患者らを温かな音色で包んだクリスマスコンサート。笠松町田代、松波総合病院

ど17曲を披露し、しっとりとした音色で約50人の観客を包んだ。

コンサートは新型コロナウイルスの影響で、5年ぶりに開いた。(安井真由子)

岐阜新聞 24.12.26



温やかな音色を奏でる向田さん(中央)と松田さん(左奥)＝笠松町田代の松波総合病院で

笠松・松波総合病院

患者ら癒やすクリスマス曲

クリスマスの25日、笠松町田代の松波総合病院でピアノとバイオリンのコンサートが開かれた。患者や家族、近隣住民に癒やしを届けようと、コロナ禍を経て5年ぶりに開催。聖なる日を音楽で祝った。

ドイツ在住のピアニスト向田成人さんと、妻のバイオリニスト松田彩さんが登場。モーツァルトなど定番のクラシック音楽の楽曲のほか、昨年亡くなった作曲家家坂本龍一さんの映画音楽「戦場のメリークリスマス」といったクリスマスに

中日新聞 24.12.26

地域発展へ 結束を確認

笠松十六会互礼会



新年互礼会であいさつする松波英寿会長＝岐阜市柳ヶ瀬通、ホテルグランヴェール岐山

十六銀行笠松支店の取引先でつくる笠松十六会は22日、岐阜市柳ヶ瀬通のホテルグランヴェール岐山で新年互礼会を開いた。

松波英寿会長（松波総合病院理事長）が「看護大の設立など、今年も新しいことに挑戦していきたい」とあいさつ。互礼会の前には総会もあり、約50人が地域発展のため結束を固めた。

（安井真由子）

岐阜新聞 25.1.24

女性アスリートの無月経



産婦人科医
今井篤志さん

松波総合病院
診療内分必センター長
羽鳥雅彦（松波支店長）



体脂肪減、骨密度に影響

過度な運動は健康に多くの利益をもたらす。精神的な爽快感も伴いますが、過度なスポーツはさまざまな健康被害を生じます。女性アスリートが練習のし過ぎで月経が止まってしまつたのをよく目にします。

スポーツをするにはそれなりのエネルギーを消費します。で、それに代るカロリー摂取が必要で、体重が軽くなるということがあります。また、栄養系の問題は過激な食事制限を行つてしまつてしまつた（心臓を動かす、呼吸をする、体温を保つなど）を優先してエネルギーを消費してしまう。逆に生命の維持に必要のない機能は停止させて、エネルギーの浪費を防ぎます。生体は生命維持から最も大切な機能を優先し、残りを削ぎ止めていきます。この時、脳は脂



標準体重
体脂肪減少
脳
↑
レプチン
↓
脂肪
↓
ゴナドトロピン
↓
卵巣
↓
エストロゲン
↓
骨
無月経
月経異常
骨粗鬆症

骨密度は思春期に増加率が最も大きく、20歳前には各人の人生における最大骨密度となり、その後は徐々に低下します。女性では閉経後は骨の密度はBMD（骨密度）の2割（25%）の計算で割り下ります。思春期に十分に栄養を供給し、運動によって適度な刺激を与えて丈夫な骨を作

岐阜新聞 25.2.13

赤字続く羽島市民病院

地域医療法人に参画へ

市長方針

羽島市の松井聡市長は14日、赤字が続く市民病院について、民間病院や美濃市などが立ち上げた地域医療連携推進法人「美濃国地域医療リンケージ」への参画を、松井市長は市役所で開いた新年予算見会で「満床でも経営が苦しい、というのが全国の公立病院が置かれている状況。そんな中でも市内唯一の、入院病床がある病院を継続させることは大命題」と話した。今後は市議会への報告などを経て正式に参画する。新年度に予定している経営診断については「診療科別の収支などを調べる」と説明した。（安井真由子）

羽島市の2025年度当初予算案

(24年度当初予算比)

一般会計	265億円	7.4%
特別会計	145億3356万円	2.7%
企業会計	132億3646万円	4.1%
総額	542億7002万円	5.3%

※1万円未満切り捨て

主な事業（万円、▷は新規）	
▶病院事業会計への繰出金	9億6908
▷中学生の給食無償化	1億4895
▷適応指導教室の増設	922
▷消防緊急通信指令施設の更新	4億1619
▷内水ハザードマップ作成	644
▶ごみ処理施設建設負担金	3億6282
▷立地適正化計画作成	2212

法人蘇西厚生会と海津市医師会、美濃市が2023年に設立。機能分担や業務連携により互いの経営負担を減らし、地域医療の維持を目的としている。松井市長は市役所で開いた新年予算見会で「満床でも経営が苦しい、というのが全国の公立病院が置かれている状況。そんな中でも市内唯一の、入院病床がある病院を継続させることは大命題」と話した。今後は市議会への報告などを経て正式に参画する。新年度に予定している経営診断については「診療科別の収支などを調べる」と説明した。（安井真由子）

岐阜新聞 25.2.15

ペットと入院が可能 全国初の病室開設へ

海津市医師会病院

海津市医師会病院（同市海津町福江）は、全国の一般病院で初となる「ペットと一緒に入院できる病室」の今春の開設を企画している。敷地内にドッグランも整備する予定。

同市が21日に発表した2024年度一般会計補正予算案に、ドッグラン整備の補助金として750万円を盛り込んだ。

同医師会と松波総合病院（笠松町）を運営する蘇西厚生会（同）、美濃市でつくる「美濃国地域医療リンケージ」が計画している。「ペットが自宅にいたため

入院できない」という人の治療が遅れることがないよう、ペット連れの入院を可能にする。全国の医療機関ではこれまで、出産の際に愛犬と泊まれる産院などに限られていた。

医師会病院の空き病室を



ペットと入院できる病室の開設が企画されている海津市医師会病院＝海津市海津町福江で

中日新聞 25.2.22

活用してペットと一緒にさせる病室を設置。患者がペットを一時預けて松波総合病院で手術を受け、病状が安定したら医師会病院に転院する運用を想定している。（今井智文）



AYAWEEKの「がん」をテーマにした
催しをPRする関係者（岐阜
市役所）

「AYAWEEK（アヤ世代）」（15〜39歳）のがんに理解を深めるイベント「AYAWEEK（アヤウィーク）」2025 Gifuが8日、岐阜市司町のみんなの森さくらメディアコスモスなどで開かれる。岐阜市民病院など市内のがん診療連携拠点病院6カ所が合同で企画し、がんを経験した医師や看護師のトークショーなど多彩な催しがある。参加無料。（大賀由貴子）

「A Y Aがん」知る一步に

県内6病院連携、8日にイベント

医師や看護師トーク、市民講座

県によると、2020年県内でがんと診断された患者は1万5415人のうち、アヤ世代は2822人。学業や就職、結婚などさまざまなライフイベントを迎えながら治療を続ける一方、周囲の悩みを抱える一方、周囲に同じ境遇の人が少なくつなかりを持ちにくいことや、国からの経済的支援が整っていない実態がある。イベントはアヤ世代への支援の輪を広げると、同

メディコスなど

岐阜新聞 25.3.5

羽島市民病院の地域医療連携法人加入

「医療体制確保に寄与」

院長答弁

羽島市議会の定例会は11日、本会議を再開、代表・一般質問を行った。市民病院について山田卓也院長は、民間病院などが立ち上げた地域医療連携推進法人への加入により「地域での医療体制の確保に寄与しつつ、経営改善にもつなげていきたい」と述べた。

市議会 一般質問

羽島市議員（自民派）と
市の関係に答えた。松井
聡市長は先月の記者会見
で、松波総合病院を運営す
る岐阜県生会や美濃市など
による法人「美濃国地域医
療リレー」へ加わる方
針を示している。

定の医師を確保できている
とあり、連携に向けた協議
を進める。
ほかに要請（自民クラ
ブ、原一郎（公明）、豊
人）が、地域医療の分担と運
営を強化する方針であるこ
とを受け、加入する」と経
営委員会ですでに了承を得
る。

岐阜新聞 25.3.12

松波病院が日本初の専門病棟



日本初のペット飼育病棟を開設する海津市医師会病院。病棟内にドッグラン施設を予定している（昨年12月、鳥羽海津病院前にて）（松波病院提供）

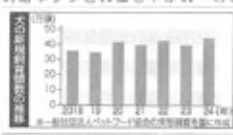
海津の病院に来月開設

松波病院（鳥羽市）は、多様な社会福祉法人が連携し、4月1日に「松波病院」を開院する。開院にあたり、日本初のペット飼育病棟を開設する。病棟内にドッグラン施設を予定している（昨年12月、鳥羽海津病院前にて）（松波病院提供）

愛犬と入院OK

患者のストレス軽減

高まるペットの癒やし
専門家、健康効果も指摘



「ペットと入院できる病棟が増えることで、患者のストレスが軽減され、回復が早まるという効果が期待できる。また、ペットの存在が患者の気持を和らげ、治療への意欲を高める効果もある。専門家からは、ペットの癒やし効果が、患者の健康にプラスに働くという指摘がある。」

岐阜新聞 25.3.20